

オールインワンDJシステム

XDJ-AZ

alphatheta.com/support/Japan/

rekordbox.com

serato.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧いただけます。

もくじ

はじめに	8
本書の見かた	8
付属品を確認する	8
マニュアルを閲覧する	9
本機の概要.....	10
システム概要.....	10
rekordbox for Mac/Windows.....	13
rekordbox for iOS/Android.....	15
PRO DJ LINK	16
Serato DJ Pro.....	16
PC/Mac の準備	17
設定ユーティリティを使う	20
rekordbox CloudDirectPlay	22
rekordbox CloudDirectPlay をはじめる.....	23
rekordbox CloudDirectPlay の認証用デバイス	25
インターネット接続を確認する	27
rekordbox CloudDirectPlay へログインする	28
rekordbox CloudDirectPlay からログアウトする	29
rekordbox CloudDirectPlay による楽曲ファイルの再生	30
Beatport Streaming と組み合わせて使用する	30
StreamingDirectPlay.....	31
Beatport Streaming へログインする	31
Beatport Streaming による楽曲ファイルの再生	32
各部の名称.....	33
コントロールパネル.....	33
本体フロント部.....	34

本体リア部	34
本体表示部	36
ジョグ表示	45
画面の基本操作	46
接続 (基本スタイル).....	47
PRO DJ LINK 接続	47
メディアの挿入と取り外し.....	51
USB セクション	51
USB デバイス.....	52
選曲.....	53
ブラウザセクション	53
ソースを選択する	54
トラックを選択する	54
トラックを探す	55
ロードする前に音声を確認する (TOUCH Preview).....	59
トラックをロードする	60
HISTORY を使う	61
タグリストを使う	62
プレイリスト画面を表示する	66
再生.....	69
デッキセクション	69
再生 / 一時停止する	71
全体波形上の触れた位置から再生する	71
逆再生する	71
再生中の基本操作	72
再生速度を調整する (テンポコントロール)	73
音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)	73
再生中以外の音声をモニターする (TOUCH CUE).....	74

録音	75
録音しながらトラックを分割する	75
ジョグの操作	76
ジョグセクション	76
操作モードを切り替える	77
ジョグを操作する	77
ジョグの回転負荷を調整する	78
再生と停止の速度を調整する (VINYL モード)	78
キュー	79
キューポイントを設定する	79
キューポイントに戻る	79
キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)	80
キューポイントを保存する	80
保存したキューポイントを呼び出す	80
保存したキューポイントを削除する	81
オートキューを設定する	81
ループ	82
ループを設定する	82
ループポイントを微調整する	83
ループの長さを調整する	84
ループインポイントに戻ってループ再生する (リトリガー)	84
アクティブループを使う	85
ループ再生を解除する	85
エマージェンシーループ	85
ループポイントを保存する	86
保存したループポイントを呼び出す	86
保存したループポイントを削除する	86
ビートジャンプ/ループムーブ	87
ビートジャンプ/ループムーブを使う	87

クオンタイズ (デッキ用)	88
クオンタイズを使う	88
スリップ	89
スリップモードを設定する	90
ビートシンク	91
ビートシンクを使う	91
インスタントダブルスを使う	92
ビートグリッド	93
ビートグリッドを調整する	93
キーシンク	94
キーシンクを使う	94
キーシフト	95
キーシフトを使う	95
パフォーマンスパッドの操作	96
パフォーマンスパッドセクション	96
ホットキュー/ゲートキュー	97
ビートループ.....	102
スリッパーループ.....	103
キーシフト	104
ビートジャンプ/ループムーブ.....	105
音声出力	106
チャンネルセクション/マスターセクション	106
音声を出力する	108
音質を調整する	109
フェーダーを設定する	110
音声モニター	111
ヘッドホンセクション	111
ヘッドホンで音声をモニターする	112
SonicLink ヘッドホンで音声をモニターする.....	112

BOOTH セクション.....	114
BOOTH モニターを使う	114
マイク	115
MIC セクション.....	115
マイクを使う.....	116
マイクのハウリングを低減する (FEEDBACK REDUCER)	117
SOUND COLOR FX.....	118
SOUND COLOR FX セクション	118
SOUND COLOR FX を使う	119
SOUND COLOR FX の種類と設定方法	120
BEAT FX	122
BEAT FX セクション	122
BEAT FX を使う.....	124
BPM を手動で設定する (TAP モード).....	125
BEAT FX の種類と設定方法.....	126
DJ ソフトウェアを使う.....	131
DJ ソフトウェアを操作する	131
設定.....	133
設定を変更する	133
UTILITY 設定項目.....	134
無線 LAN (Wi-Fi [®]) 接続	144
Bluetooth [®] 接続	145
SHORTCUT 画面から設定を変更する	147
SHORTCUT 画面の設定項目	148
MIXER SETTINGS 画面から設定を変更する	149
MIXER SETTINGS 画面の設定項目.....	150
記録メディアから MY SETTINGS を読み込む	151
スペック	152
仕様.....	152

その他	155
故障かな？と思ったら	155
液晶画面について	158
商標および登録商標について	159
著作権	160

はじめに

本書の見かた

- このたびは、AlphaTheta 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC/Mac 画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[]で囲んで記載しています。(例：[ファイル]、[CUE]ボタン)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

付属品を確認する

- 電源コード×1
- 保証書（一部の地域）*1×1
- 使用上のご注意×1
- クイックスタートガイド×1

*1 欧州向け、北米地域向け製品のみ。(日本向けは「使用上のご注意」に記載されています。)

マニュアルを閲覧する

❖ rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「イントロダクション」は、rekordbox for Mac/Windowsのセットアップ方法を記載しています。

「操作説明書」は、rekordbox for Mac/Windowsの操作方法を記載しています。

下記のrekordboxサイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

❖ Serato DJ Pro ソフトウェアマニュアル

下記のSerato DJサイトをご確認ください。

serato.com/dj/pro/downloads

本機の概要

システム概要

対応ソース

本機は以下のソースに対応しています。

- － USBデバイス
- － モバイルデバイス（15 ページ）
- － PC/Mac（17 ページ）

❖ USB デバイスについて

USB デバイスは、以下に対応しています。

フォルダー階層	最大 8 階層まで（8 階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません。）
最大フォルダー数	無制限（1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるフォルダーは表示できません。）
最大ファイル数	無制限（1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるファイルは表示できません。）
対応ファイルシステム	FAT16、FAT32、exFAT、HFS+（NTFS には対応していません。）

- USB マスストレージクラスの USB デバイスに保存されている楽曲ファイルを再生できません。
- フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。
- 外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使用できません。
- 本機と USB デバイスを接続する場合は、USB ハブは使用できません。
- 本機との接続により、お客様が USB デバイスに保存したデータが損失、またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本機のUSBデバイス挿入口に許容量以上の電流が流れるとUSBインジケーターが点滅し、USBデバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すには、本機に接続されたUSBデバイスを取り外してください。また、過電流が検出されたUSBデバイスは使用しないでください。
上記の方法で正常な状態に戻らない（通信しない）ときは、本機の電源を入れ直してください。
- USBデバイスに複数のパーティションを設定しているときは、最初のパーティションのみ使用できます（rekordboxのライブラリ情報が含まれている場合は、rekordboxのライブラリ情報が格納されているパーティションが優先されます）。
- フラッシュカードリーダー搭載のUSBデバイスは、正常に動作しないことがあります。
- USB端子へUSBデバイスを接続する際は、延長ケーブルを使用しないでください。延長ケーブルを使用すると、通信が途切れることがあります。

対応ファイルフォーマット

本機は以下のフォーマットの楽曲ファイルに対応しています。

種類	拡張子	フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング周波数
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3		32 ~ 320 kbps	
AAC	.m4a、 .aac、 .mp4	MPEG-4 AAC LC MPEG-2 AAC LC	16 bit	16 ~ 320 kbps	44.1 kHz、 48 kHz
WAV	.wav	WAV			
AIFF	.aif、 .aiff	AIFF			44.1 kHz、 48 kHz、
Apple Lossless	.m4a	ALAC	16bit、24bit	—	88.2 kHz、 96 kHz
FLAC	.flac、 .fla	FLAC			

- 対応フォーマットのファイルでも再生できないことがあります。

タグ情報

楽曲ファイルのID3タグ（v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0）またはメタタグから、タグ情報を読み込むことができます。

楽曲ファイルのアートワーク

楽曲ファイルには、JPEG形式（拡張子：“jpg”、“jpeg”）のアートワーク画像を追加できます。800 × 800ピクセルより大きいサイズの画像は表示できません。

文字表示

Unicode以外のローカルコードの文字（トラック名など）を表示したいときは、**[Language]**の設定を変更してください（142 ページ）。

rekordbox for Mac/Windows

rekordbox for Mac/Windowsは楽曲管理とDJパフォーマンスができるDJアプリケーションです。

- rekordbox for Mac/Windowsの楽曲管理機能をEXPORTモードと呼びます。EXPORTモードで管理された楽曲ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れたDJパフォーマンスを実現できます。
- rekordbox for Mac/WindowsのDJパフォーマンス機能をPERFORMANCEモードと呼びます。本機をrekordbox for Mac/WindowsがインストールされたPC/Macに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくてもPERFORMANCEモードの機能を使用することができます。この仕組みをHardware Unlockと呼びます。
- Hardware Unlockの対象機能については、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com

- rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアをダウンロードしてください。

rekordbox.com

- rekordbox for Mac/Windowsの最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com/system

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などによっては、CPUやハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でrekordbox for Mac/Windowsを使用してください。

OneLibrary

本機は、OneLibraryにのみ対応しています。

USBデバイスでOneLibrary以外のライブラリを使用する場合は、下記の手順でOneLibraryに変換してから本機で使用してください。

1 最新のrekordbox for Mac/Windowsを起動する

2 USBデバイスを接続する

3 画面にしたがって、変換を実行する

- 詳細については、下記のFAQからOneLibrary利用ガイドを参照してください。
rekordbox.com/support/faq/onelibrary-7/

rekordbox for iOS/Android

rekordbox for iOS/Android がインストールされているモバイルデバイスを接続すると、rekordbox for iOS/Android で管理している楽曲ファイルを本機で再生できます。

- rekordbox for iOS/Android との接続については、下記のサイトから FAQ を参照してください。

iOS:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units/#faq-q100037

Android:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units-android/#faq-q110039

- 本機では ver.4.0.0 以降で搭載されている DJ パフォーマンス用の機能は使用できません。下記の画面で **[CDJ/XDJ/DJM と接続]** を選択して PRO DJ LINK 接続で使用してください。



PRO DJ LINK

PRO DJ LINKには、記録メディアを使用する「USB Export」と、rekordboxがインストールされているPC/Macやモバイルデバイスを使用する「rekordbox LINK EXPORT」があります。LANケーブル(CAT5e)とスイッチングハブを使って、PRO DJ LINK対応のプレーヤーを2台まで接続できます。

📄 接続：「PRO DJ LINK 接続」(47 ページ)

Serato DJ Pro

Serato DJ Proは、Serato社製のDJソフトウェアです。

Serato DJ Proソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Proソフトウェアをダウンロードしてください。

serato.com

- Serato DJ Proの最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記のサイトを参照してください。

serato.com/dj/pro/downloads

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などによっては、CPUやハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でSerato DJ Proを使用してください。

PC/Mac の準備

本機にPCの音声を入力する場合は、お使いのPCにあらかじめ下記のソフトウェアをインストールしてください。Macをお使いの場合は、専用オーディオドライバーソフトウェアおよびrekordbox for Windows USB接続(LINK EXPORT)ドライバーソフトウェアのインストールは必要ありません。

- ー 専用オーディオドライバーソフトウェア：本機にPCの音声を入力するためのドライバーソフトウェアです。専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティも同時にインストールされます（19 ページ）。
- ー rekordbox for Windows USB 接続(LINK EXPORT)ドライバーソフトウェア：rekordbox for Windowsと本機を USB 接続(LINK EXPORT)するためのドライバーソフトウェアです。
インストールの方法については、下記のAlphaThetaサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記のAlphaThetaサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- 1台のPC/Macに、本機を複数台接続した場合の動作は保証しません。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアがインストールされていないPCを本機に接続すると、環境によってはPCにエラーが発生することがあります。
- お使いのPC/Mac上のソフトウェアとの組み合わせによっては、動作に不具合が発生することがあります。

専用オーディオドライバーソフトウェアのインストール

❖ インストールについてのご注意

- インストールする前に、本機の電源をオフにし、本機とPCを接続しているUSBケーブルを取り外してください。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールする前に、PC上のすべてのアプリケーションを終了してください。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアをお使いのPCにインストールするには、管理者権限が必要です。
- インストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- インストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。
- インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。
- すべてのPC環境において動作保証するものではありません。

専用オーディオドライバーソフトウェアを入手する

1 下記のサイトにアクセスする

alphatheta.com/support/Japan/

2 [ソフトウェア更新情報]をクリックする

3 [オールインワンDJシステム]カテゴリー内の[XDJ-AZ]をクリックする

4 [Drivers]をクリックする

5 [ダウンロードリンク]をクリックして、ファイルを保存する

- お使いのPC専用のオーディオドライバーソフトウェアをダウンロードしてください。

専用オーディオドライバソフトウェアをインストールする

- 1 ダウンロードした専用オーディオドライバソフトウェアを解凍する
 - “XDJ-AZ#####.exe.zip” を解凍してください（#は専用オーディオドライバソフトウェアのバージョン表示）。
- 2 インストールファイルをダブルクリックする
 - “XDJ-AZ#.###.exe” をダブルクリックしてください（#は専用オーディオドライバソフトウェアのバージョン表示）。
- 3 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、**[同意する]**にチェックを入れて**[OK]**をクリックする
 - 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しないときは、**[キャンセル]**をクリックして、インストールを中止してください。
- 4 画面の指示にしたがって、インストールする

設定ユーティリティを使う

PCに専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティを使って以下の内容を確認および設定できます。

- バッファサイズを調整する (Windows ASIO使用時) (21 ページ)
- 専用オーディオドライバーソフトウェアのバージョンを確認する (21 ページ)

設定ユーティリティを表示する

❖ Windows 11 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから [すべてのアプリ] → [AlphaTheta] → [XDJ-AZ 設定ユーティリティ] をクリックする

❖ Windows 10 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから [AlphaTheta] → [XDJ-AZ 設定ユーティリティ] をクリックする

バッファサイズを調整する（Windows ASIO使用時）

- 本機を既定のオーディオデバイスとして利用しているアプリケーション（DJソフトウェアなど）が起動している場合は、終了してからバッファサイズを調整してください。

☞ 「設定ユーティリティを表示する」（20 ページ）

1 [ASIO] タブをクリックする

2 スライダーでバッファサイズを調整する

- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落（音とぎれ）などは発生しにくくなりますが、音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが増大します。

専用オーディオドライバーソフトウェアのバージョンを確認する

☞ 「設定ユーティリティを表示する」（20 ページ）

1 [About] タブをクリックする

オーディオドライバーソフトウェアのバージョンが表示されます。

rekordbox CloudDirectPlay

rekordbox CloudDirectPlay を利用すると、クラウドストレージにアップロードした楽曲ファイルを本機にロードし、再生することができます。

- 楽曲ファイルをクラウドストレージへアップロードするには、Cloud Library Syncを使用します。クラウドストレージに楽曲ファイルをアップロードすると、お使いのPC/Macやモバイルデバイス、または本機に、アップロードした楽曲ファイルをロードして再生できるようになります。
- Cloud Library Syncについては、Cloud Library Sync操作ガイドを参照してください。

rekordbox.com/manual

クラウドを利用した楽曲管理などについては、下記のサイトも参照してください。

rekordbox.com

❖ rekordboxバージョン

本機でrekordbox CloudDirectPlayを使用するには、最新バージョンのrekordboxをインストールしてください。

❖ サブスクリプション

Freeプランを含むすべてのプランで利用できます。

- プランの詳細については、下記のサイトのプランページを参照してください。

rekordbox.com

❖ クラウドストレージサービス

rekordbox CloudDirectPlayでは、Cloud Library Syncで利用しているクラウドストレージサービスを利用します。

- Cloud Library Syncとrekordbox CloudDirectPlayは、DropboxとGoogle Driveに対応しています。
- 詳細については、Cloud Library Sync操作ガイドを参照してください。

rekordbox.com/manual

❖ 回線速度

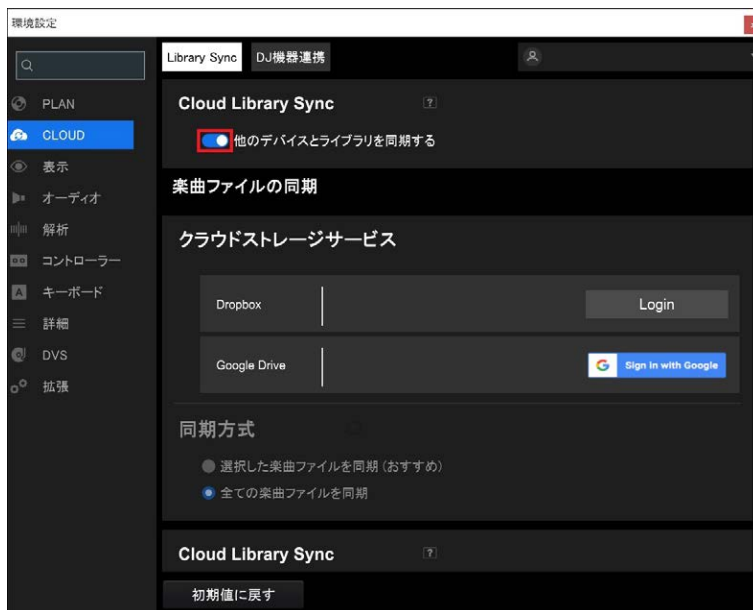
ライブラリの同期や楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。rekordbox CloudDirectPlayを使用するには、20 Mbps以上の回線速度を推奨します。

❖ 個人利用について

rekordbox CloudDirectPlay では、個人の複数のPC/Macやモバイルデバイス、本機で同じライブラリを利用できます。複数人で同じライブラリを共有することはできません。

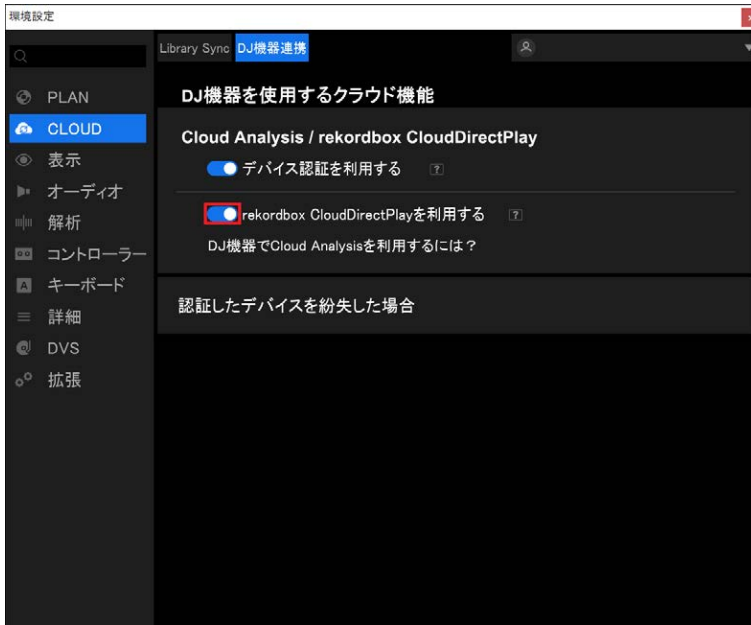
rekordbox CloudDirectPlay をはじめる

- 1 rekordbox for Mac/Windows で、画面右上の  をクリックする
[環境設定]ウィンドウが開きます。




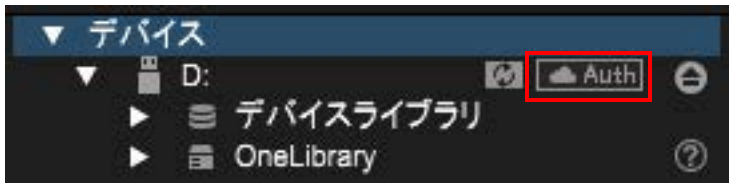
- 2 [CLOUD]カテゴリーの [Library Sync] タブをクリックする
- 3 [Cloud Library Sync]の [他のデバイスとライブラリを同期する] がオンになっていることを確認する
- 4 [CLOUD]カテゴリーの [DJ 機器連携] タブをクリックする

5 [Cloud Analysis / rekordbox CloudDirectPlay]の[rekordbox CloudDirectPlayを利用する]をオンにする



クラウドサーバーで、ライブラリの変換が開始されます。

変換が完了すると、ツリービューのデバイス名の右側に  [Auth]（認証ボタン）が表示されます。




- ライブラリ内の楽曲ファイル数によって、ライブラリの変換に時間がかかることがあります。
- ライブラリの変換がエラーになると、[rekordbox CloudDirectPlayを利用する]が自動でオフになります。繰り返し変換エラーが発生する場合は、下記のサイトからサポートへお問い合わせください。
rekordbox.com
- [rekordbox CloudDirectPlayを利用する]をオフにすると、同一アカウントで利用しているすべてのデバイスの認証が解除されます。
- [rekordbox CloudDirectPlayを利用する]をオフにしてからオンにすると、再度ライブラリの変換が実行されます。

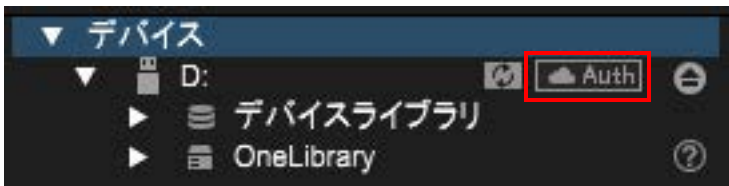
rekordbox CloudDirectPlay の認証用デバイス



rekordbox CloudDirectPlay を使って本機に楽曲ファイルをロードして再生するには、認証用のUSBデバイスが必要です。

rekordbox CloudDirectPlay の認証用デバイスとして使用するUSBデバイスをPC/Macに接続して、認証操作を行います。


USB デバイスを認証する

- 1 USB デバイスをPC/Macに接続する
- 2 ツリービューのデバイス名の右側にある  Auth] (認証ボタン) をクリックする



デバイスの認証が完了すると、 Auth] (認証ボタン) が  (認証済みアイコン) に変わります。

USB デバイスの認証を解除する


- 1 ツリービューのデバイス名の右側にある  (認証済みアイコン) をクリックする

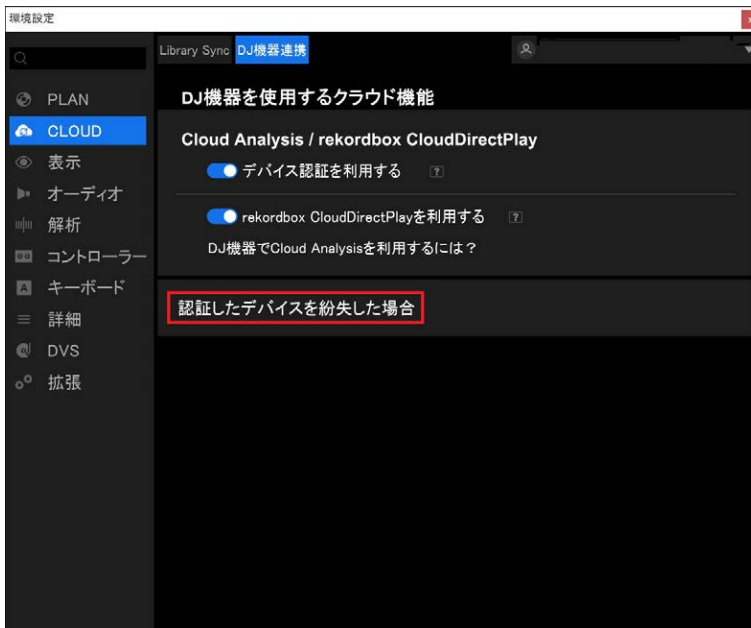
認証が解除されます。

- USBデバイスが、rekordboxで利用しているアカウントと異なるアカウントで認証されている場合は、アカウントを切り替えてから認証を解除してください。
- USBデバイスが他人のアカウントで認証されている場合は、以下のいずれかの方法で認証を解除してください。
 - 認証した本人のPC/MacにUSBデバイスを接続して認証を解除する
 - 認証した本人のPC/MacからWebサイトにアクセスして認証を解除する (26 ページ)

Webサイトでデバイスの認証を解除する

認証済みのUSBデバイスを紛失した場合などは、Webサイトでデバイスの認証を解除することができます。

- 1 rekordbox for Mac/Windows で、画面右上の  をクリックする
[環境設定] ウィンドウが開きます。
- 2 [CLOUD] カテゴリの [DJ 機器連携] タブをクリックする
- 3 [認証したデバイスを紛失した場合] をクリックする



お使いのブラウザにWebサイトが表示されます。

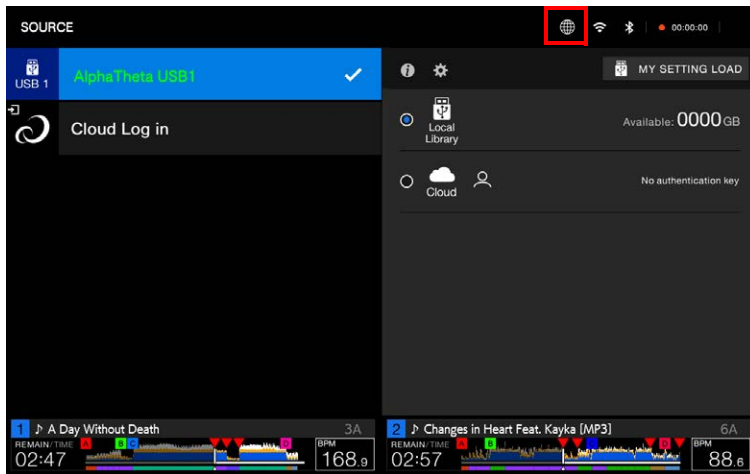
4 Webサイトの指示にしたがって、デバイスの認証を解除する


- ほかのアカウントの認証は解除できません。認証を解除したいデバイスのアカウントに切り替えてから実行してください。

インターネット接続を確認する

rekordbox CloudDirectPlayが利用可能なときは、本機の[**SOURCE**]画面にインターネット接続アイコンが表示されます。

☰ 「SOURCE画面」 (36 ページ)



-  (グレー) が表示されているときは、rekordbox CloudDirectPlayを利用できません。ネットワーク接続を確認してください。

rekordbox CloudDirectPlay へログインする

認証用 USB デバイスを使用するとき

- 1 rekordbox CloudDirectPlay の認証用 USB デバイスを本機に接続する

自動でログインが開始され、rekordbox CloudDirectPlay が利用可能になります。

認証用 USB デバイスを使用しないとき (QR コードログイン)

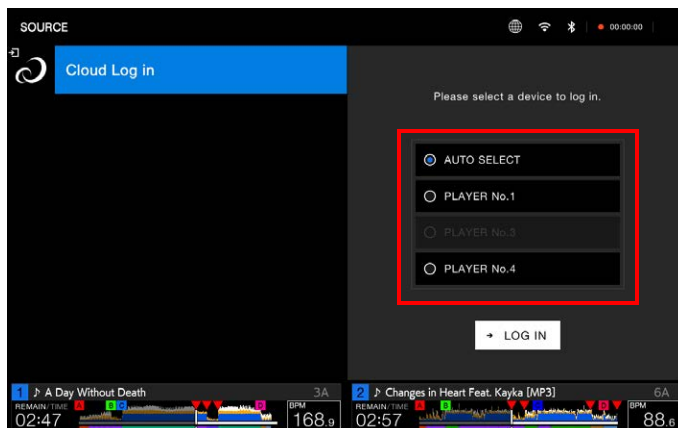
- 1 [SOURCE] 画面を表示する

☰ 「SOURCE 画面」 (36 ページ)

- 2 [Cloud Log In] を選択して、[LOG IN] をタッチする
- 3 モバイルデバイスの内蔵カメラで QR コードをスキャンする
- 4 モバイルデバイスに表示される手順に沿ってログインする

rekordbox CloudDirectPlay が利用可能になります。

- [SOURCE] 画面の [Cloud Log In] から、ログインするプレイヤーを選択してログインすることもできます。



rekordbox CloudDirectPlay からログアウトする

認証用 USB デバイスを使用しているとき

1 本機から認証用 USB デバイスを取り外す

rekordbox CloudDirectPlay およびストリーミングサービスからログアウトされます。

☛ 「USB デバイスを取り外す」 (52 ページ)

認証用 USB デバイスを使用していないとき

1 [SOURCE]画面を表示する

☛ 「SOURCE画面」 (36 ページ)

2 ログイン済みのrekordbox CloudDirectPlayの[LOG OUT]をタッチする

rekordbox CloudDirectPlay およびストリーミングサービスからログアウトします。

rekordbox CloudDirectPlay による楽曲ファイルの再生

[SOURCE]画面でrekordbox CloudDirectPlayを選択しているときは、クラウドストレージにアップロードされている楽曲ファイルを本機のブラウザ画面から利用することができます。

- 楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。ロードの進行状況は、WAVEFORM画面の全体波形に表示されます。
- 以下の再生機能は、ロード中の楽曲ファイル内のみで使用できます。
 - メモリーキュー/ループ
 - ホットキュー/ループポイント
- 楽曲ファイルはトラックリストから1つずつロードするため、以下の機能は使用できません。
 - TRACK SEARCH
 - Play ModeのContinue
- rekordbox CloudDirectPlayでは、以下の機能は使用できません。
 - HOT CUE BANK LIST
 - INTELLIGENT PLAYLIST
- rekordbox CloudDirectPlayへ接続中は、同一アカウントで利用しているほかのrekordbox CloudDirectPlayやCloud Library Syncで変更した楽曲情報は反映されません。変更した内容を反映するには、rekordbox CloudDirectPlayにログインしなおしてください。

Beatport Streaming と組み合わせて使用する

rekordboxを使ってBeatport Streamingの楽曲を含むプレイリストを作成し、クラウドストレージへアップロードすると、本機にロードして再生することができます。

rekordbox CloudDirectPlay と Beatport Streaming にそれぞれログインして、操作します。

☐ 「StreamingDirectPlay」 (31 ページ)

StreamingDirectPlay

Beatport Streaming上の楽曲を、本機のブラウザ画面から利用することができます。

Beatport Streaming へログインする

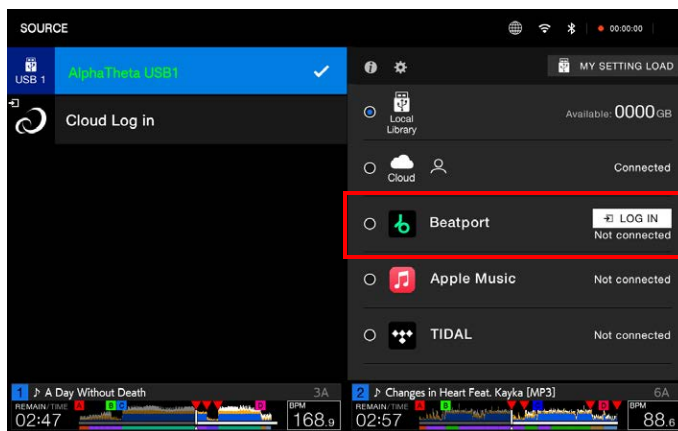
1 rekordbox CloudDirectPlay へログインする

📄 「rekordbox CloudDirectPlay へログインする」 (28 ページ)

2 [SOURCE]画面を表示する

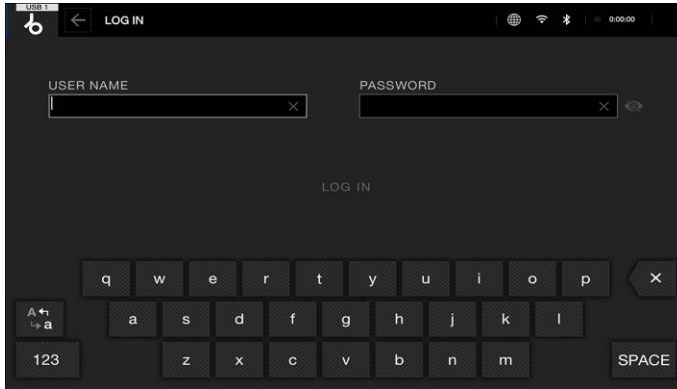
📄 「SOURCE画面」 (36 ページ)

3 ライブラリ表示で、[Beatport]の[LOG IN]をタッチする



4 Beatport Streaming に契約したアカウントでログインする

- USER NAME (ユーザー名) と PASSWORD (パスワード) を入力します。



ログインが完了すると、USBデバイスのLibrary表示部に[DJ NAME]が表示されます。

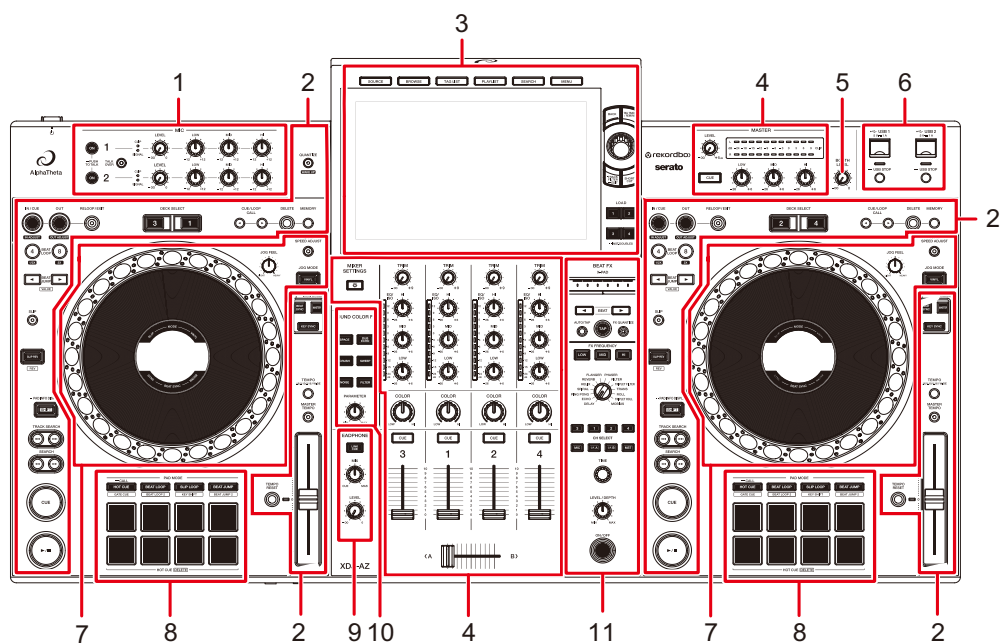
Beatport Streaming による楽曲ファイルの再生

[SOURCE]画面で Beatport Streaming を選択しているときは、Beatport Streaming の楽曲をブラウザ画面から利用することができます。

- 楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。ロードの進行状況は、WAVEFORM画面の全体波形に表示されます。
- 以下の再生機能は、ロード中の楽曲ファイル内のみで使用できます。
 - メモリーキュー/ループ
 - ホットキュー/ループポイント
- 楽曲ファイルはトラックリストから1つずつロードするため、以下の機能は使用できません。
 - TRACK SEARCH
 - Play Mode の Continue

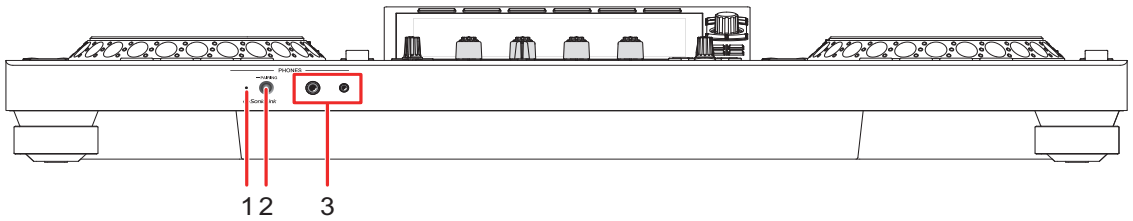
各部の名称

コントロールパネル



1. MICセクション (115 ページ)
2. デッキセクション (69 ページ)
3. ブラウズセクション、本体表示部 (36 ページ、53 ページ)
4. チャンネルセクション/マスターセクション (106 ページ)
5. BOOTHセクション (114 ページ)
6. USBセクション (51 ページ)
7. ジョグセクション (76 ページ)
8. パフォーマンスパッドセクション (96 ページ)
9. ヘッドホンセクション (111 ページ)
10. SOUND COLOR FXセクション (118 ページ)
11. BEAT FXセクション (122 ページ)

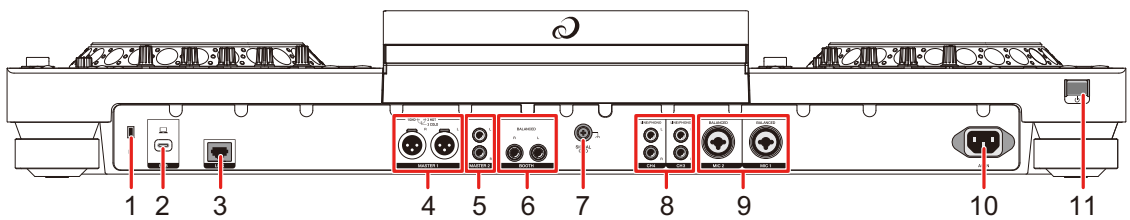
本体フロント部



1. **SonicLink**ヘッドホンインジケータ（112 ページ）
2. **PAIRING** ボタン（112 ページ）
3. **PHONES** 端子（112 ページ）

ヘッドホンはどちらか一方の端子(1/4"ステレオフォンジャックまたは3.5 mm ステレオミニジャック)に接続してください。両方の端子を同時に使用すると、音質が悪くなったり、音量が小さくなったりする場合があります。

本体リア部



1. **ケンジントンロック装着用穴**
盗難防止用のワイヤーロックを装着します。
2. **USB** 端子（48 ページ）
PC/Macと接続します。
3. **LINK** 端子（49 ページ）
PRO DJ LINK対応プレーヤーのLINK 端子、またはrekordboxがインストールされているPC/MacのLAN 端子と接続します。
 - PRO DJ LINK対応のプレーヤーと接続する場合は、UTILITY設定の[**PRO DJ LINK Mode**]を[On]に設定してください（136 ページ）。
 - 有線LANの接続には、CAT5e以上のSTPケーブルを使用してください。
4. **MASTER 1** 端子(balanced XLR)
パワーアンプやパワードスピーカーなどのアナログ入力端子と接続します。

- 必ずバランス出力として使用してください。XLR-RCA変換ケーブル(変換アダプター)などを使ってアンバランス入力(RCAなど)へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- ほかの製品の電源コードを接続しないように注意してください。
- ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。
- アンバランス入力(RCAなど)の接続には、[MASTER 2]端子を使用してください。

5. MASTER 2端子(RCA)

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

6. BOOTH端子(1/4"/6.35 mm、TRS) (114 ページ)

BOOTHモニター用の出力端子です。

- 必ずバランス出力として使用してください。アンバランス入力へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

7. SIGNAL GND端子

ターンテーブルのアース線を接続します。ターンテーブル接続時の雑音を低減します。

8. LINE/PHONO端子(RCA)

マルチプレーヤーやラインレベルの出力機器、またはフォノレベル(MMカートリッジ用)の出力機器を接続します。

- 入力する信号により大音量が出力される場合があります。入力する信号と設定が合っているかを確認してください。

9. MIC 1端子、MIC 2端子(XLRまたは1/4"/6.35 mm、TRS) (116 ページ)

10. AC IN

付属の電源コードで、コンセントと接続します。

11. 電源ボタン

本機の電源のオン/オフを切り替えます。

注意

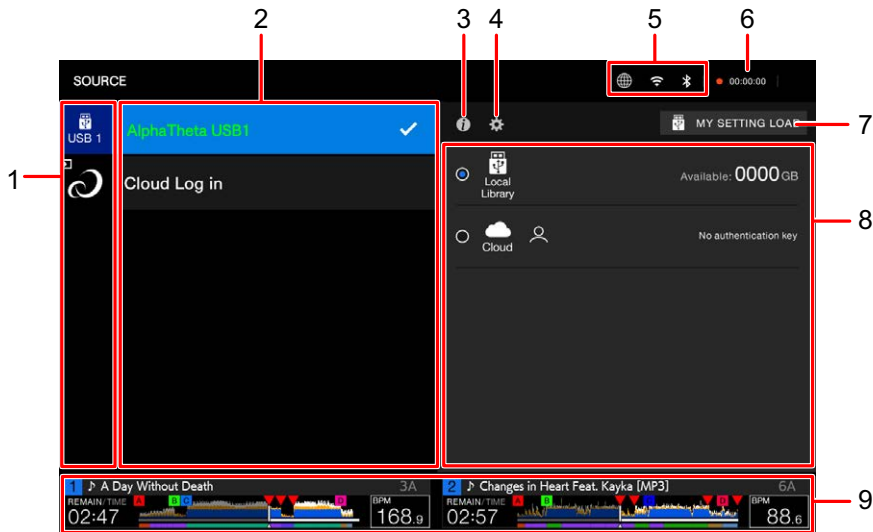
製品の仕様により、本体部やリモコン(付属の場合)のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ(遮断装置)をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

本体表示部

🔄 「ブラウザセクション」 (53 ページ)

SOURCE 画面

[SOURCE] ボタンを押すと、ソース選択画面が表示されます。



1. デバイスアイコン

接続されているデバイスを表示します。

- デバイスに **[Background Color]** が設定されている場合は、その色で表示します。

2. デバイス名/ステータス表示

デバイス名と、デバイスの選択状態を表示します。

3. デバイス情報

i をタッチすると、ハイライトされているデバイスの情報を表示します。




4. **⚙️** (DEVICE SETTING)

デバイスまたはクラウドを選択して、以下を設定できます。

- **[Waveform Color]**: 波形の色を変更します。
- **[Background Color]**: 選択中の記録メディアに保存したバックグラウンドカラーを設定します。画面表示の一部の色を変更します。
- **[Display username on-screen]**: クラウドに登録したニックネームを本体表示部に表示するかどうかを設定します。

- **[Log Out Time]**: クラウドサーバーにログインしたまま rekordbox CloudDirectPlay およびストリーミングサービス (Beatport、TIDAL) を利用しなかった場合に、クラウドから自動的にログアウトするまでの時間を設定します。**[Cloud Log In]** を使用してクラウドにログインしたときにのみ表示されます。
- **[MY SETTINGS LOAD]**: 選択中の記録メディアに保存した UTILITY 設定とその他の設定内容呼び出します (151 ページ)。

5. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン): インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi 接続アイコン): Wi-Fi 接続の状態を表示します。タッチすると UTILITY 設定の Network カテゴリーが表示されます。
-  (Bluetooth 接続アイコン): Bluetooth 接続の状態を表示します。タッチすると UTILITY 設定の Bluetooth カテゴリーが表示されます。

6. REC タイマー

録音 (MASTER REC) を開始すると、録音時間が表示されます (75 ページ)。タッチすると **[MIXER SETTINGS]** 画面が表示されます。

7. MY SETTING LOAD

選択中の記録メディアに保存した UTILITY 設定とその他の設定内容呼び出します (151 ページ)。

8. ライブラリ表示

ライブラリを表示します。

- **[Local Library]**: 選択中の記録メディアの rekordbox のライブラリをブラウズできます。
- **[Cloud]**: クラウドにログイン後、クラウド上の rekordbox のライブラリをブラウズできます (22 ページ)。

9. デッキ表示部

ブラウズ画面

[BROWSE]、[TAG LIST]、[PLAYLIST] ボタンを押すと、ブラウズ画面（トラックリスト）が表示されます。

記録メディアやCloudDirectPlay、接続されたPC/Macおよびモバイルデバイス上のrekordboxのライブラリ、Beatport Streamingをブラウズできます。

- [BROWSE] 画面で、rekordbox のライブラリ情報が入っていない記録メディアをブラウズしたときは、フォルダーとトラックを階層構造でリスト表示します。

[BROWSE] ボタンを押したとき



1. カテゴリー

カテゴリーを表示します。

- カテゴリーの種類は、rekordboxの[環境設定]で設定できます（Beatport Streamingは、カテゴリーの種類をrekordboxで設定することはできません）。

2. デバイスアイコン

[SOURCE]画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます（36 ページ）。

3. ◀ (BACK)


上の階層を表示します。

4. 上位階層表示

表示されている項目の上位フォルダーまたはデバイス名を表示します。

5. トラックリスト

選択している階層やプレイリスト内のPreview波形、アートワークおよびトラックリストを表示します。

- **[PREVIEW]** カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます (59 ページ)。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます。サブカラムの種類は、rekordboxの**[環境設定]**で設定できます (Beatport Streamingは、サブカラムの種類をrekordboxで設定することはできません)。




6. PREVIEW

[PREVIEW]カラムを表示/非表示します。

7. フォントサイズ

フォントサイズを変更します。

8. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン) : インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン) : Wi-Fi接続の状態を表示します。タッチするとUTILITY設定のNetworkカテゴリーが表示されます。
-  (Bluetooth 接続アイコン) : Bluetooth 接続の状態を表示します。タッチするとUTILITY設定のBluetoothカテゴリーが表示されます。

9. REC タイマー

録音(MASTER REC)を開始すると、録音時間が表示されます (75 ページ)。タッチすると**[MIXER SETTINGS]**画面が表示されます。

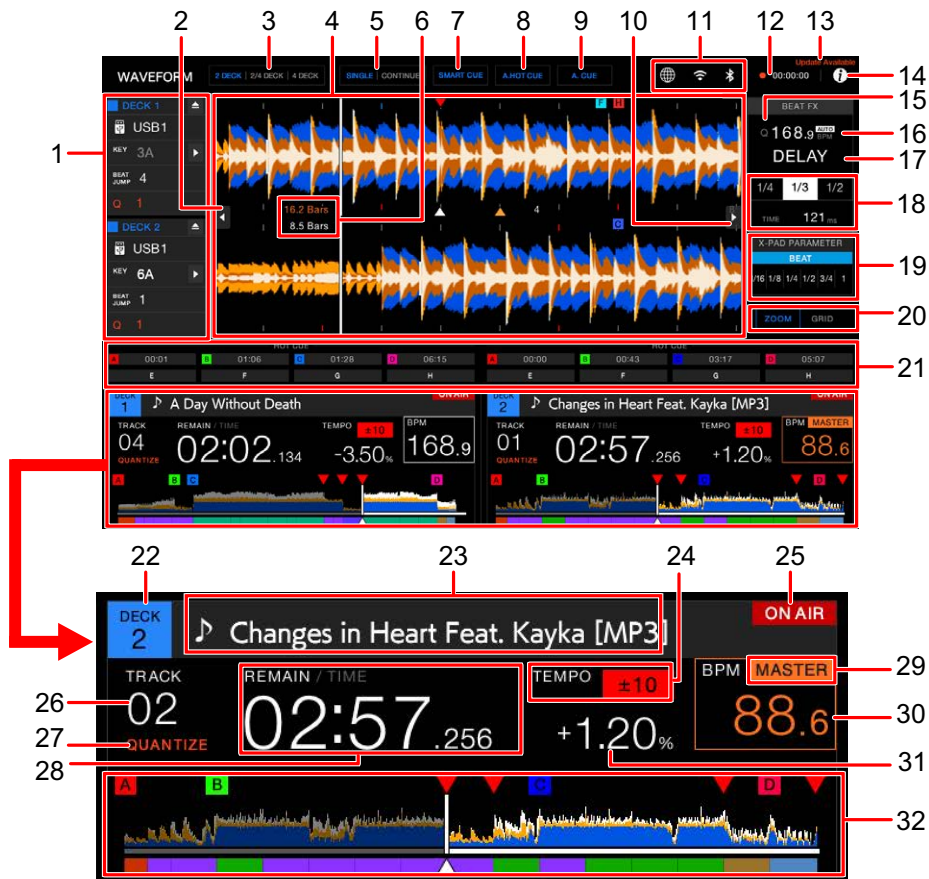
10. (INFO)

ロードされているトラックの詳細情報を表示します。

11. デッキ表示部





再生画面 (WAVEFORM 画面)

❖ MAIN DISPLAY



1. デッキ情報

デッキと、デッキにロードされているトラックの以下の情報を表示します。

- デッキ番号
-  : ロード中の楽曲をアンロードします (UTILITY 設定の [Eject/Load Lock] が [Lock] に設定されているときは、再生中に楽曲をアンロードできません (134 ページ)。[Unlock] に設定するか、 ボタンを押して一時停止してから  をタッチしてください)。
- デバイス (トラックの格納先)
- キー: 楽曲のキー (調) を表示します。
-  (KEY SHIFT) (95 ページ)
- ビートジャンプ拍数表示: ビートジャンプに設定されている拍数を表示します。
- ループ拍数表示: ビートループの拍数設定または実行中のループの拍数を表示します。

- ON AIR表示：[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から音声出力が可能なときに表示されます（デッキ情報非表示時のみ）。デッキ情報の非表示時は、デッキ番号とON AIR表示のみ表示します。
- Q表示（デッキ用）、クオンタイズ拍数：クオンタイズ機能がオンで有効のときは赤色で、オンで無効のときはグレーで表示されます（88 ページ）。

2. デッキ情報タブ

デッキ情報を表示/非表示します。

3. 2 DECK/2/4 DECK/4 DECK

デッキ表示部および拡大波形の2 DECK表示と4 DECK表示を切り替えます。

4. 拡大波形

本機またはrekordboxで解析した拡大波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

- [SOURCE]画面の[MY SETTINGS LOAD]または[Waveform Color]で波形の色を変更できます（36 ページ）。

5. SINGLE/CONTINUE

ロードされているトラックの再生方法を切り替えます。

6. ビートカウントダウン

現在の再生位置に一番近いメモリーキューポイントまでの小節数、拍数を表示します。

7. SMART CUE

SMART CUEのオン/オフを切り替えます。

8. A. HOT CUE

オートホットキューのオン/オフを切り替えます（100 ページ）。




9. A. CUE

オートキューのオン/オフを切り替えます（81 ページ）。

10. FXタブ

BEAT FX情報パネルを表示/非表示します。

11. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン)：インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン)：Wi-Fi接続の状態を表示します。タッチするとUTILITY設定のNetworkカテゴリーが表示されます。
-  (Bluetooth 接続アイコン)：Bluetooth 接続の状態を表示します。タッチするとUTILITY設定のBluetoothカテゴリーが表示されます。

12. REC タイマー

録音(MASTER REC)を開始すると、録音時間が表示されます（75 ページ）。タッチすると[MIXER SETTINGS]画面が表示されます。

13. Update Available (アップデート通知アイコン)

インターネットに接続されているときにファームウェアの更新がある場合は、更新通知を表示します。

14. (INFO)

ロードされているトラックの詳細情報を表示します。

15. Q表示 (BEAT FX用QUANTIZE表示)

BEAT FXのクオンタイズ機能がオンで有効のときは赤色で、オンで無効のときはグレーで表示されます (124 ページ)。

16. BPM (BEAT FX用)

BEAT FX 用のBPM (Beats Per Minute。1分間の拍数) を表示します。

- オートモードのときは[AUTO]が表示され、自動で検出したBPMが表示されます。
- 手動入力モードのときはBPMが緑色で表示され、[TAP]が表示されます。

17. BEAT FX

選択されているBEAT FX (エフェクト名) を表示します (126 ページ)。

18. パラメーター表示

エフェクトに設定されているパラメーター (msec、BEAT) を表示します。

19. X-PAD ステータス表示

X-PADを操作しているときに、操作位置を表示します。

20. ZOOM /GRID

ZOOMモードとGRID ADJUSTモードを切り替えます。

- ZOOMモードとGRID ADJUSTモードは、ロータリーセレクターを長押しして切り替えることもできます。
- 各モードでロータリーセレクターを回して、以下を操作できます。
 - ZOOMモード: 上下の拡大波形を同時に拡大/縮小します。
 - GRID ADJUSTモード: アクティブデッキにロードされているトラックのビートグリッドを調整します (93 ページ)。

21. パッドモード状態表示

デッキで使用中のパッドモードを表示します (96 ページ)。

22. デッキ番号

23. トラック名

ロードされているトラックの名称を表示します。

24. 再生速度

TEMPOスライダーの位置にしたがって、数値が変化します。

25. ON AIR 表示

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から音声出力が可能なときに表示されます。

26. トラック番号

ロードされているトラックの番号 (01～999) を表示します。

27. QUANTIZE 表示 (デッキ用)

クオンタイズ機能がオンで有効のときは赤色で、オンで無効のときはグレーで表示されます (88 ページ)。

- クオンタイズに設定されている拍数は、UTILITY 設定の [Quantize Beat Value (Deck)] (134 ページ) または [SHORTCUT] 画面の [Quantize Beat Value] (148 ページ) で設定します。

28. 時間表示 (分、秒、msec)

残り時間または経過時間を表示します。

時間表示をタッチして、残り時間または経過時間表示を切り替えます。

- 残り時間表示のときは [REMAIN/TIME] の [TIME] 表示がグレーで、経過時間表示のときは [REMAIN/TIME] の [REMAIN] 表示がグレーで表示されます。

29. MASTER 表示

デッキがマスターデッキのときに表示されます。

30. BPM (デッキ用)

再生しているトラックの BPM (Beats Per Minute。1 分間の拍数) を表示します。

- 測定値が当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。測定方法などが異なるためであり、故障ではありません。

31. 再生速度可変範囲表示

元の再生速度に対して、調整できる範囲を表示します (73 ページ)。

32. 全体波形

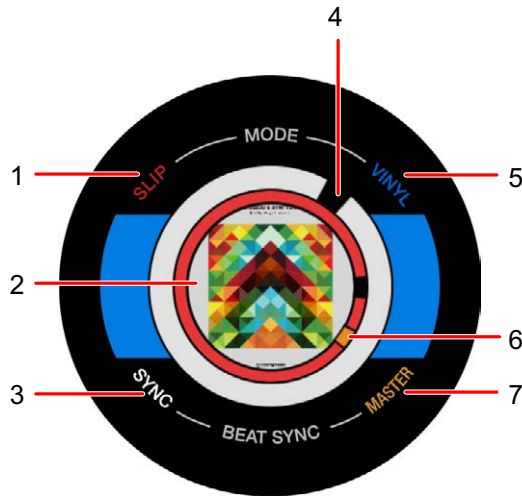
本機または rekordbox で解析した全体波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

- 各表示は以下を示します。
 - プレーイングアドレス：トラック (1 曲) を棒グラフ (横のライン) で示します。現在の再生位置は、白色の縦線で示します。時間表示が [TIME] のときは、グラフの左側から点灯して経過時間を示します。[REMAIN] のときは、左側から消灯して残り時間を示します。
 - 目盛表示 (30 秒間隔) /Phrase：プレーイングアドレスの下に 30 秒間隔のメモリまたは Phrase を表示します。UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [Waveform Divisions] で表示内容を設定します (140 ページ、148 ページ)。

各部の名称

- メモリーキュー/ループポイント、ホットキュー/ループポイント：波形表示の上部に、楽曲に記録されているメモリーキュー/ループポイント、ホットキュー/ループポイントをマークで表示します。
- キュー/ループポイント：波形表示の下部に、楽曲に設定されているキュー/ループポイントをマークで表示します。
- カウントダウン表示：カウントダウン対象のメモリーキューの位置を表示します。
- **[SOURCE]**画面の**[MY SETTINGS LOAD]**または**[Waveform Color]**で波形の色を変更できます（36 ページ）。
- メモリーキュー/ループポイントとホットキュー/ループポイントは、rekordboxで色を設定できます。

ジョグ表示



1. SLIP 表示

スリップモードがオンのときに点灯します。

2. アートワーク/ループ拍数表示/PADモード表示

アートワークを表示します。表示するアートワークは、UTILITY設定または[SHORTCUT]画面の[Image On-Jog Display]で設定できます（141ページ、148ページ）。

ループ実行中は、ループの拍数を表示します。

PADモードの使用中は、デッキで使用中のPADモードを表示します。PADモード表示は、[SHORTCUT]画面の[Pad Info Display]で設定できます（148ページ）。

3. SYNC 表示

ビートシンクがオンのときに点灯します。

4. 再生位置表示

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

5. VINYL 表示

VINYLモードがオンのときに点灯します。

6. キュー/ループ/ホットキューポイント表示

設定されているキューポイント、ループポイント、ホットキューポイントの位置を示します。

7. MASTER 表示

デッキがマスターデッキのときに点灯します。

画面の基本操作

本体表示部の画面は、ロータリーセクターを使って、または画面をタッチして操作します。

❖ ロータリーセクターで操作する

以下の操作が可能です。

操作	説明
回す	カーソルを移動し、選択する項目をハイライトします。
押す	項目の選択を決定します。

❖ タッチディスプレイで操作する

以下の操作が可能です。

操作	説明
	項目の選択を決定します。
タッチ	波形部以外 <ul style="list-style-type: none"> 階層をタッチすると、下の階層を表示します。 トラックをタッチすると、トラックメニューを表示します。
	波形部 <p>ブラウザ画面で、全体波形の任意の位置をタッチしている間、タッチした位置からの音声をモニターできます。</p>
フリック	階層を上下にスクロール表示します。

❖ 階層を戻る

1 コントロールパネル上の[BACK]ボタンを押す

1つ上の階層（前の画面）を表示します。

- [BACK]ボタンを長押しすると、一番上の階層をハイライトします。

接続（基本スタイル）

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフにし、電源コードを抜いてください。
電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。

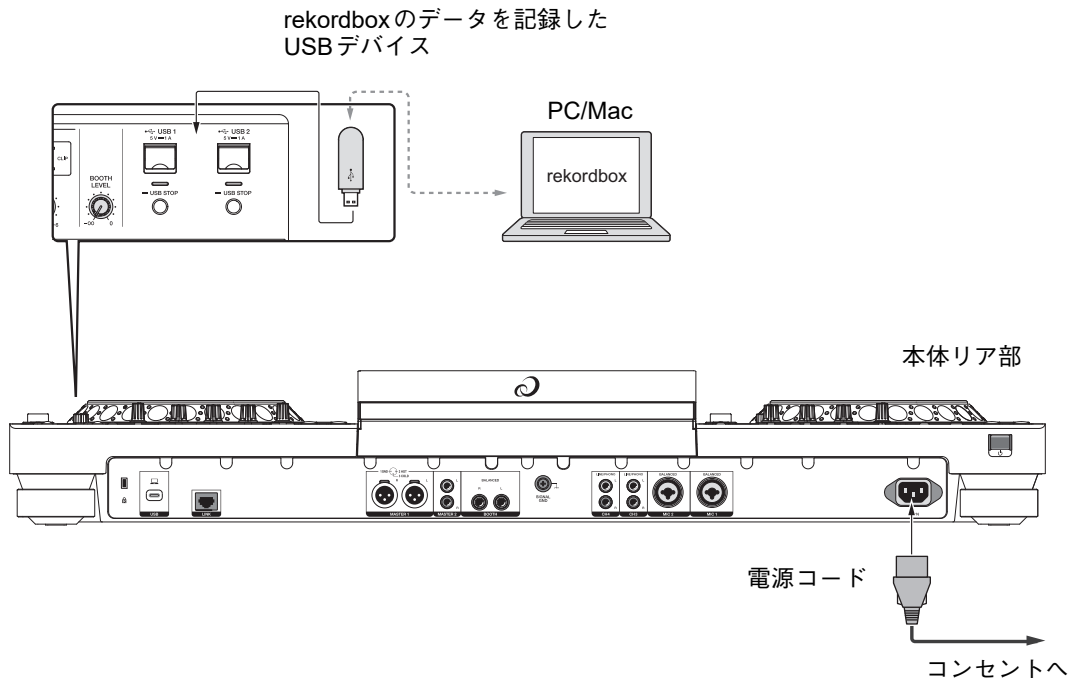
- 付属の電源コードを使用してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。

PRO DJ LINK 接続

USB Export

USBデバイス（フラッシュメモリー、ハードディスクなど）を使って、rekordboxの楽曲ファイルやデータを本機と受け渡しできます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。

- 本機はOneLibraryにのみ対応しています（14 ページ）。



rekordbox LINK EXPORT

rekordboxがインストールされているPC/Macまたはモバイルデバイスと本機をLAN ケーブル(CAT5e)、USBケーブル、または無線LAN (Wi-Fi)ルーターを使って接続すると、rekordbox内のトラックを選曲し、再生できます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。

- PCをUSBケーブルで接続して使用するには、あらかじめrekordbox for Windows USB 接続 (LINK EXPORT) ドライバーソフトウェアをインストールしてください（17 ページ）。
- rekordbox for iOS/Androidとの接続については、下記のサイトからFAQを参照してください。

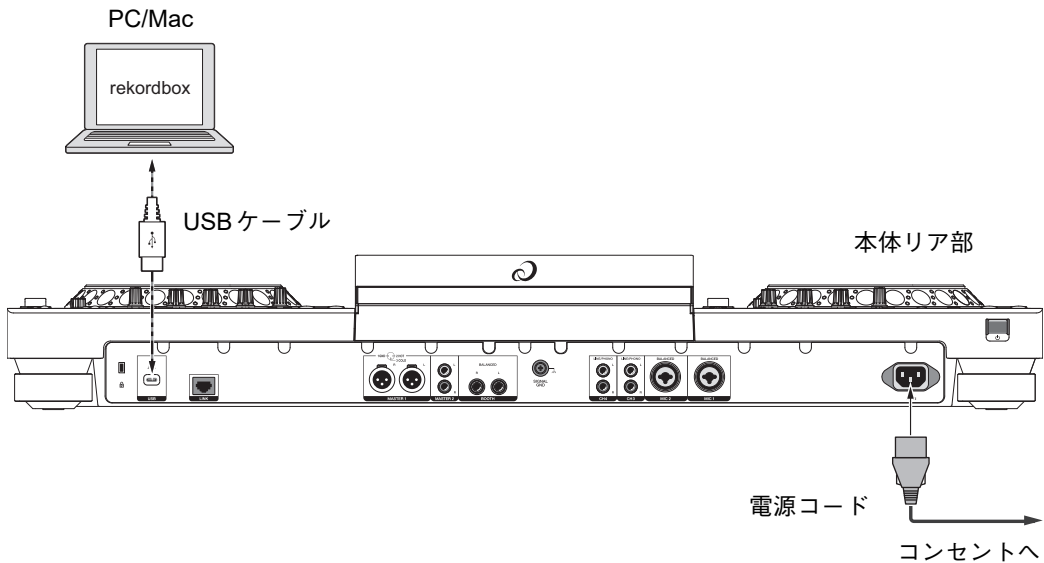
iOS :

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units/#faq-q100037

Android :

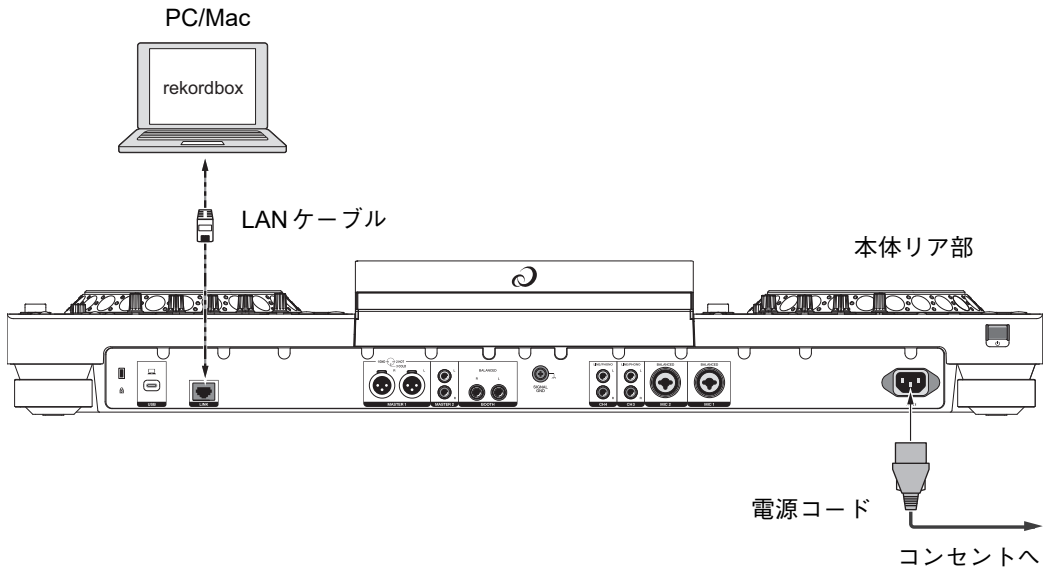
rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units-android/#faq-q110039

❖ USB ケーブルを使うとき



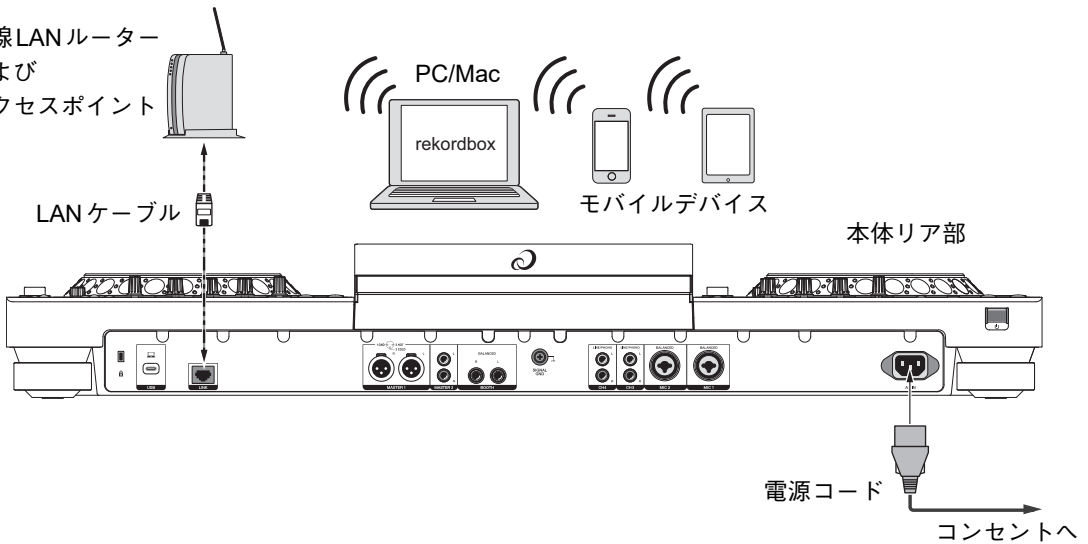
- USBケーブルは、まっすぐ挿入、または引き抜いてください。上下左右方向に力を加えないでください。

❖ LANケーブルを使うとき



❖ 無線LANルーターおよびアクセスポイントを使うとき

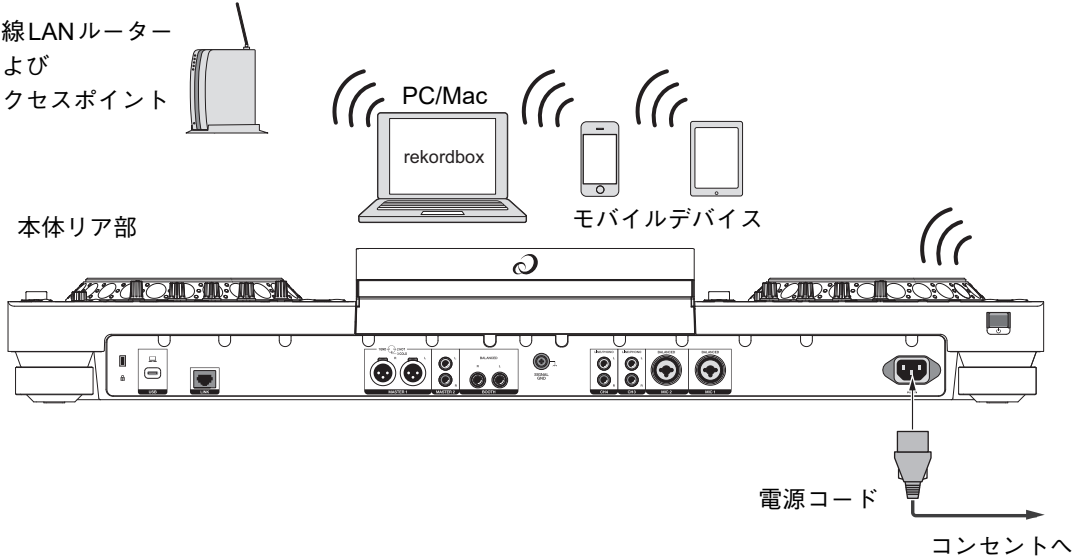
LANケーブルを使うとき：



接続（基本スタイル）

内蔵無線 (Wi-Fi) を使うとき：

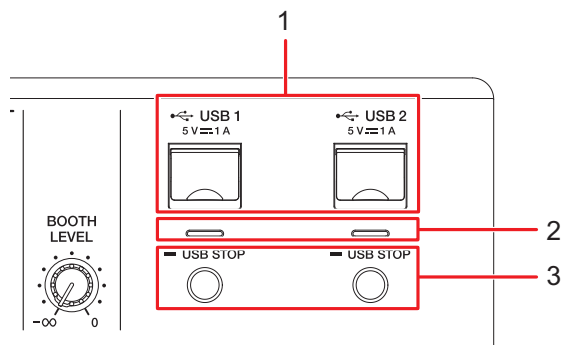
無線LANルーター
および
アクセスポイント



- 本機の内蔵無線 (Wi-Fi) を使用中は、LAN ケーブル (CAT5e) や USB ケーブルでの rekordbox LINK EXPORT は使用できません。

メディアの挿入と取り外し

USB セクション



1. **USB 1、USB 2 デバイス挿入口**
2. **USB 1、USB 2 インジケータ**
USB デバイスと通信しているときに点滅します。
3. **USB 1、USB 2 STOP ボタン**

USB デバイス

- **[USB STOP]** ボタンを使用しないで USB デバイスを取り外したり、USB 接続中に本機の電源をオフにしないでください。本機の管理データが消去されたり、USB デバイスを読み込めなくなることがあります。
- USB 端子カバーを強く押したり、引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。
- USB 端子へ USB デバイスを接続する際は、延長ケーブルを使用しないでください。延長ケーブルを使用すると、通信が途切れることがあります。

USB デバイスを接続する

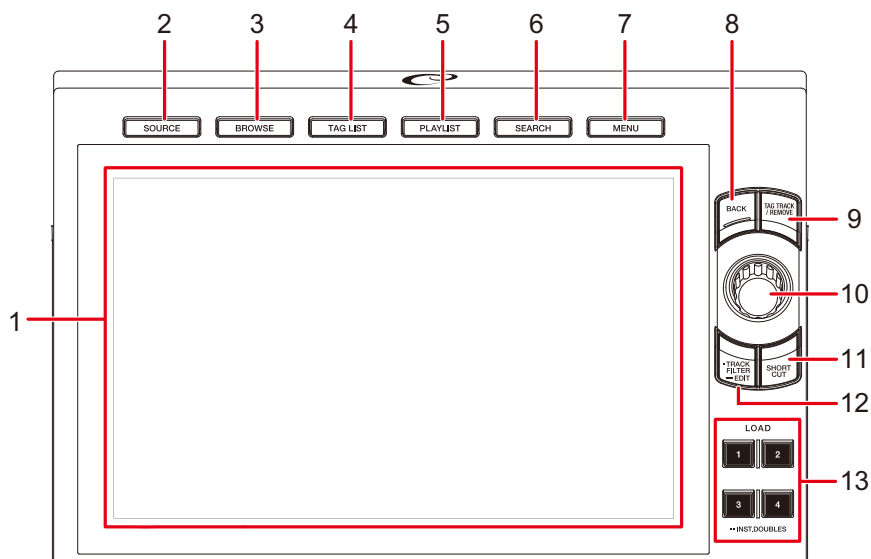
- 1 USB 端子に、USB デバイスが止まるまでゆっくりと差し込む

USB デバイスを取り外す

- 1 USB インジケータの点滅が止まるまで、**[USB STOP]** ボタンを長押しする
- 2 USB デバイスを垂直に引き抜く
 - 取り外した USB デバイスからデッキにロードしてる曲のファイルキャッシュが完了しているときは、アンロードされずに制限つきで再生を継続します。

選曲

ブラウズセクション



1. **本体表示部** (36 ページ)
2. **SOURCE** ボタン
[SOURCE]画面を表示します (36 ページ)。
3. **BROWSE** ボタン
[BROWSE]画面を表示します。
4. **TAG LIST** ボタン
[TAG LIST]画面を表示します (62 ページ)。
5. **PLAYLIST** ボタン
PLAYLIST画面を表示します (66 ページ)。
6. **SEARCH** ボタン
SEARCH画面を表示します (55 ページ)。
7. **MENU** ボタン
各画面 (使用中の機能) のメニュー項目やUTILITY設定 (133 ページ) を表示します。
8. **BACK** ボタン (46 ページ)
9. **TAG TRACK/REMOVE** ボタン
タグリストへトラックを追加または削除します (63 ページ)。

10. ロータリーセレクター (46 ページ)
11. **SHORTCUT** ボタン (147 ページ)
12. **TRACK FILTER/EDIT** ボタン
rekordbox でトラックに付加したタグ情報や BPM、キーなどの情報を使ってトラックを絞り込みます (57 ページ)。
13. **LOAD 1/2/3/4** ボタン (60 ページ)

ソースを選択する

1 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE]画面に、本機に接続されているデバイスが表示されます (36 ページ)。

2 デバイスを選択する

トラックを選択する

ブラウザ画面からトラックを選択する

1 ブラウズ画面を表示する

トラックリストが表示されます。

☐ 「ブラウザ画面」 (38 ページ)

2 トラックを選択する

☐ 「トラックをロードする」 (60 ページ)

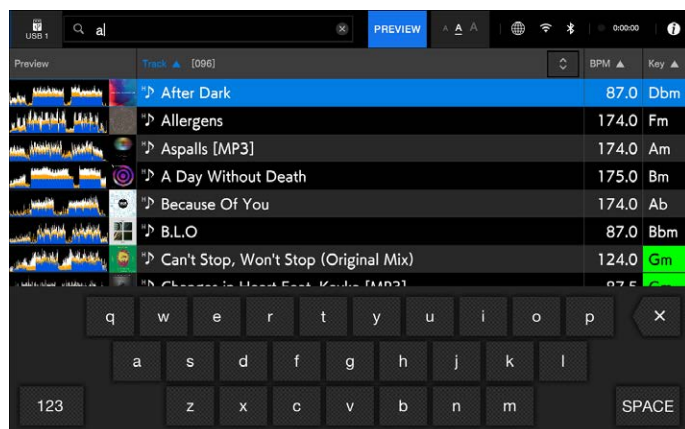
トラックを探す

SEARCH 機能を使って探す

SEARCH 機能は、rekordbox のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

1 [SEARCH] ボタンを押す

SEARCH 画面が表示されます。



2 キーボードを使ってキーワードを入力する

入力したキーワードを含むトラック名などが表示されます。

- スペースで区切って、複数のキーワードを指定できます。

ジャンプ機能を使って検索する

ジャンプ機能には、2つのモードがあります。

❖ アルファベットジャンプ

1 アルファベット順表示のリストで、ロータリーセレクターを長押しする

アルファベットジャンプモードに切り替わり、ハイライトされているトラックまたはカテゴリーの頭文字が表示されます。

- アルファベットジャンプで表示される文字は A ~ Z、0 ~ 9、および一部の記号です。

2 ロータリーセレクターを回して、表示をスクロールする

表示されている文字が頭文字のトラックまたはカテゴリーにカーソルが移動します。

- 表示されている文字から始まるトラックまたはカテゴリーがない場合は、カーソルは移動しません。

❖ ページジャンプ

1 アルファベット順表示以外のリストで、ロータリーセレクターを長押しする

ページジャンプモードに切り替わります。

2 ロータリーセレクターを回して、ページをスクロールする

各ページのリストの最初または最後のトラックにカーソルが移動します。

TRACK FILTER を使って探す

rekordboxでトラックに付加したタグ情報（マイタグ）やBPM、キーなどの情報を使ってトラックを絞り込みます。TRACK FILTER機能は、rekordboxのライブラリをブラウズしているときに使用できます。

❖ トラックを絞り込む

1 [TRACK FILTER/EDIT] ボタンを押す

現在指定されている条件でトラックが絞り込まれます。

❖ トラックフィルター編集画面で条件を指定する

1 [TRACK FILTER/EDIT] ボタンを長押しする

トラックフィルター編集画面が表示されます。

2 条件を指定します。

- トラックフィルター条件には、トラックに付加したタグ情報（マイタグ）、BPM、KEY、RATING、COLORを設定することができます。
- チェックボックスにチェックマークを付けると、フィルター条件が有効になります。
- **[MASTER DECK]** をタッチすると、マスターデッキに設定されているデッキで再生しているトラックのBPMとキーを取り込みます。
- rekordboxでトラックフィルター条件を設定することもできます。
- 条件設定は、記録メディアごとにそれぞれ記憶されます。

再生中の楽曲のキー（調）を使って探す

マスターデッキにロードされているトラックのキーと相性が良い楽曲のキーが緑色に変わります。

- マスターデッキが設定されていない場合は、この機能は利用できません。

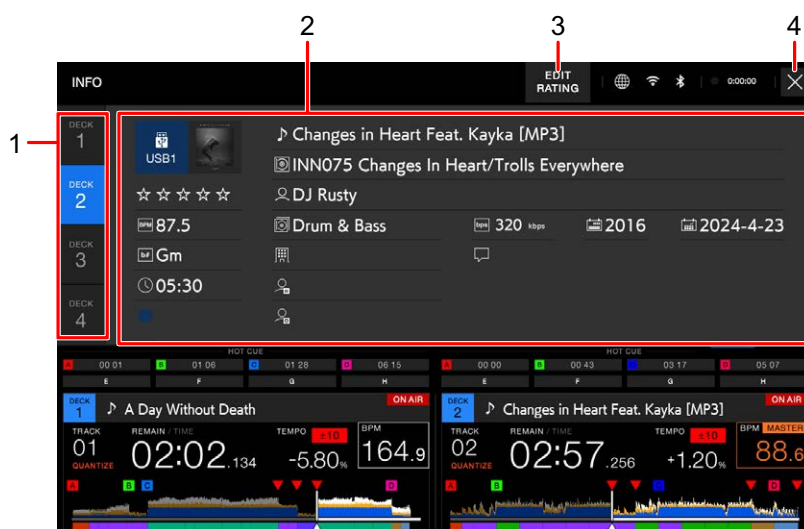
INFORMATION ジャンプ機能を使って探す

詳細情報表示中のトラックと同じジャンルや、BPM値が近いトラックを探することができます。

1 WAVEFORM 画面で、**i** をタッチする

☰ 「再生画面（WAVEFORM画面）」（40 ページ）

[INFO]画面が表示されます。



1. デッキ番号：デッキを切り替えて、各デッキにロードされているトラックの情報を表示します。
2. トラック詳細情報
3. **EDIT RATING** ボタン：レーティングを変更できます。
4. **☒**：WAVEFORM画面に戻ります。

2 トラック詳細情報から、項目を選択する

ブラウザ画面に、選択した項目またはトラックが表示されます。

- 以下のときは、項目が選択できないことがあります。
 - － ブラウズ画面に表示するカテゴリーがない。
 - － トラック詳細情報画面にアイコンだけが表示されている。

ロードする前に音声を確認する (TOUCH Preview)

トラックをロードする前に、音声をモニターできます。

1 ヘッドホンを接続する

☞ 「本体フロント部」 (34 ページ)

2 [LINK CUE] ボタンを押す

☞ 「ヘッドホンセクション」 (111 ページ)

3 トラックリストで波形をタッチする

タッチした位置から再生が開始され、ヘッドホンで音声をモニターできます。

- 波形をタッチしている間、再生中の音声を出力しながら音声をモニターできます。
- デッキへロードできないトラックはモニターできません。

☞ 「ブラウズ画面」 (38 ページ)

トラックをロードする

1 トラックリストで、トラックを選択する

☰ 「トラックを選択する」(54 ページ)

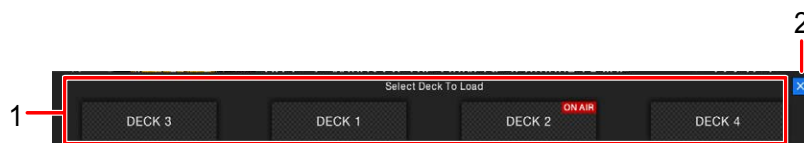
2 [LOAD 1/2/3/4] ボタンのいずれかを押す

ボタンを押したデッキにトラックがロードされます。

- UTILITY 設定の [Eject/Load Lock] が [Lock] に設定されているときは、再生中にほかのトラックをロードできません (134 ページ)。[Unlock] に設定するか、▶/|| ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。
- オートキューがオンのときは、音声開始位置で一時停止状態になります。▶/|| ボタンを押すと再生を開始します。

トラックメニューを使ってロードする

BROWSE、PLAYLIST、SEARCH、TAG LIST 画面でトラックを選択しているときにロータリーセクターを押すと、トラックメニューが表示されます。トラックメニューからトラックをロードすることもできます。



1. DECK1～4

指定のデッキにトラックをロードし、再生を開始します。

2. × (キャンセル)

トラックメニューを閉じます。

HISTORY を使う

約 1 分間再生したトラックは、HISTORY（演奏履歴リスト）に記録されます（999 件まで）。

- 本機に記録メディアを接続すると、記録メディア内に自動で新しい HISTORY が作成されます。
- 同一のトラックを 2 回以上連続して再生した場合は、HISTORY に記録されないことがあります。
- HISTORY に記録されたトラックは、トラック名などが緑色（再生済み）で表示されます。
- rekordbox を使って HISTORY を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordbox for Mac/Windows のユーザーマニュアルを参照してください（9 ページ）。

HISTORY を参照する

1 [BROWSE] ボタンを押す

[BROWSE] 画面が表示されます。

2 カテゴリーで [HISTORY] を選択する

HISTORY リストが表示されます。

HISTORY を削除する

1 HISTORY リストで、削除したい HISTORY を選択して [MENU] ボタンを押す

削除メニューが表示されます。

2 [DELETE] または [ALL DELETE] を選択する

— [DELETE]：選択している HISTORY が削除されます。

— [ALL DELETE]：すべての HISTORY が削除されます。

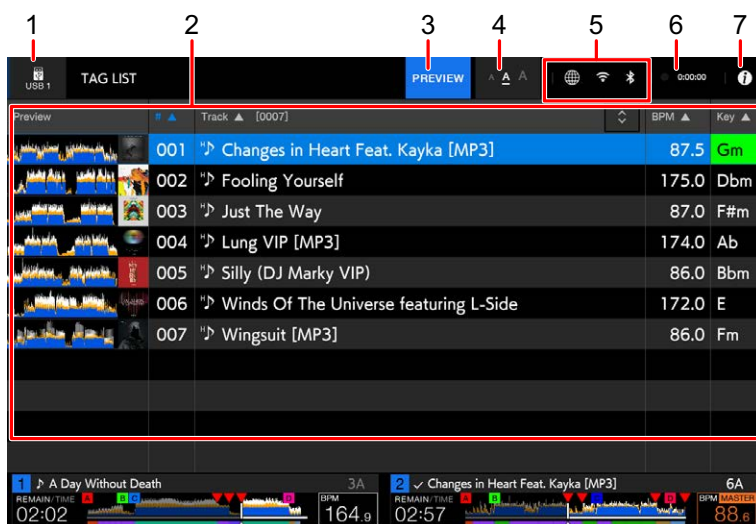
- rekordbox で HISTORY をプレイリストとして取り込むと、取り込まれた HISTORY は記録メディアから削除されます。

タグリストを使う

次に再生するトラックやDJシーンに合わせて選んだトラックを、「タグリスト」に登録しておくことができます。

- タグリストは、記録メディア、CloudDirectPlayまたはBeatport Streamingに1つ作成されます。デバイスをまたいでトラックをリストに登録することはできません。
- タグリストには、1記録メディア当たり100トラックまで登録できます。
- 同一フォルダー内の同一トラックを重複して登録することはできません。

タグリスト画面




1. デバイスアイコン

[SOURCE]画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます (36 ページ)。

2. タグリスト

タグリスト内のPreview波形、アートワーク、連番およびトラックリストを表示します。

- [PREVIEW] カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます (59 ページ)。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます。サブカラムの種類は、rekordbox の[環境設定]で設定できます (Beatport Streaming は、サブカラムの種類を rekordbox で設定することはできません)。




3. PREVIEW

[PREVIEW] カラムを表示/非表示します。

4. フォントサイズ

フォントサイズを変更します。

5. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン)：インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン)：Wi-Fi接続の状態を表示します。タッチするとUTILITY設定のNetworkカテゴリーが表示されます。
-  (Bluetooth 接続アイコン)：Bluetooth 接続の状態を表示します。タッチするとUTILITY設定のBluetoothカテゴリーが表示されます。

6. REC タイマー

録音(MASTER REC)を開始すると、録音時間が表示されます(75 ページ)。タッチすると[MIXER SETTINGS]画面が表示されます。

7. (INFO)

ロードされているトラックの詳細情報を表示します。

タグリストにトラックを追加する

1 トラックをハイライトする

- フォルダーやプレイリストを選択して、直下に含まれるトラックを一括でタグリストに追加することもできます。

2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

タグリストに追加されたトラックにはチェックマークが表示されます。

- [INFO]画面で[TAG TRACK/REMOVE]ボタンを押して、デッキにロード中のトラックをタグリストに追加することもできます。

タグリストからトラックを削除する

❖ 個別に削除する（TAG LIST画面）

- 1 トラックをハイライトする
- 2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを長押しする

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 個別に削除する（BROWSE、PLAYLIST、SEARCH画面）

- 1 トラックをハイライトする
- 2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 一括で削除する

- 1 [TAG LIST] ボタンを押す
[TAG LIST]画面が表示されます。
- 2 [MENU] ボタンを押す
[MENU]が表示されます。
- 3 [REMOVE ALL TRACKS] を選択する

タグリストからすべてのトラックが削除されます。

- 再生中のトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次のトラックは再生しません。

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストから変換したプレイリストは、[PLAYLIST] カテゴリー内にリスト表示されます。

- 記録メディアまたはCloudDirectPlay内にrekordboxのライブラリ情報が保存されていない場合は、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに、rekordboxで管理しているトラックとrekordboxで管理していないトラックが登録されている場合は、rekordboxで管理されているトラックのみプレイリストに変換されます。

1 [TAG LIST] ボタンを押す

[TAG LIST]画面が表示されます。

2 [MENU] ボタンを押す

[MENU]が表示されます。

3 [CREATE PLAYLIST] を選択する

[TAG LIST XXX]という名前のプレイリストに変換されます。

プレイリスト画面を表示する

プレイリスト画面

[PLAYLIST] ボタンを押すと PLAYLIST の内容がリスト表示されます。ブラウザ画面からも PLAYLIST の内容を表示することができます (38 ページ)。



1. プレイリストバンク

プレイリストバンクにプレイリストを登録しておく、階層移動することなくプレイリストを表示することができます (68 ページ)。

2. カテゴリー

[PLAYLIST] カテゴリーを表示します。

3. デバイスアイコン

[SOURCE] 画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます (36 ページ)。

4. ◀(BACK)

上の階層を表示します。

5. 上位階層表示

表示されている項目の上位フォルダーまたはデバイス名を表示します。




6. PREVIEW

[PREVIEW] カラムを表示/非表示します。

7. フォントサイズ

フォントサイズを変更します。

8. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン)：インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン)：Wi-Fi接続の状態を表示します。タッチするとUTILITY設定のNetworkカテゴリーが表示されます。
-  (Bluetooth 接続アイコン)：Bluetooth 接続の状態を表示します。タッチするとUTILITY設定のBluetoothカテゴリーが表示されます。

9. REC タイマー


録音(MASTER REC)を開始すると、録音時間が表示されます(75 ページ)。タッチすると[MIXER SETTINGS]画面が表示されます。

10. (INFO)

ロードされているトラックの詳細情報を表示します。

11. トラックリスト

プレイリスト内のPreview波形、アートワーク、連番およびトラックリストを表示します。

- [PREVIEW] カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます(59 ページ)。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます。サブカラムの種類は、rekordbox の[環境設定]で設定できます(Beatport Streamingはサブカラムの種類をrekordboxで設定することはできません)。

❖ プレイリスト内のトラックを再生済みまたは未再生に変更する

- プレイリスト以外でも、トラックを再生済みまたは未再生に変更することができます。

1 プレイリスト内のトラックを選択しているときに、[MENU] ボタンを押す

[MENU]が表示されます。

2 [PLAYED] または [UNPLAYED] を選択する

- [PLAYED]：未再生のトラックを再生済みに設定します。再生済みに変更したトラックは、文字が緑色に変更され、HISTORY(演奏履歴リスト)に登録されます。再生済みのトラックを選択しているときは、[PLAYED]は選択できません。
- [UNPLAYED]：再生済みのトラックを未再生に設定します。未再生に変更したトラックは、文字が白色に変更され、HISTORY(演奏履歴リスト)から削除されます。未再生のトラックを選択しているときは、[UNPLAYED]は選択できません。

❖ プレイリストを削除する

1 [PLAYLIST]画面で、[MENU]ボタンを押す

[MENU]が表示されます。

2 [DELETE]または[ALL DELETE]を選択する

- [DELETE]：選択しているプレイリストが削除されます。
- [ALL DELETE]：すべてのプレイリストが削除されます。

プレイリストバンクにプレイリストを追加する

1 [PLAYLIST]画面で、プレイリストをハイライトする

2 グレーアウト表示されているプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストが登録されると、プレイリストバンクのアイコンが白色に変わります。

- 白色アイコンのプレイリストバンクを選択すると、登録したプレイリストのトラックリストが表示されます。

プレイリストバンクからプレイリストの登録を解除する

1 プレイリストバンクでを選択する

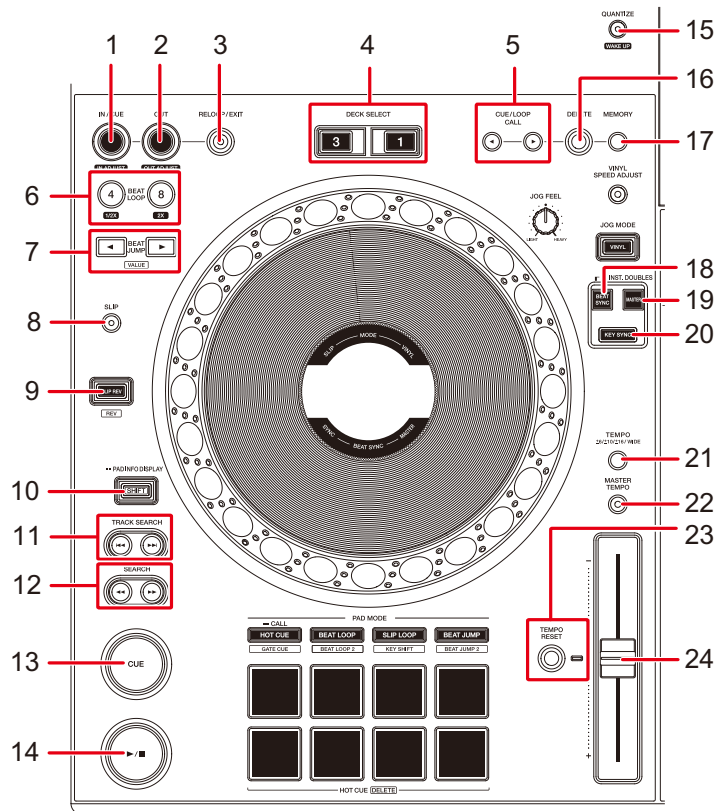
登録解除モードになり、プレイリストバンクアイコンに×が表示されます。

2 登録を解除するプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストの登録が解除され、登録解除モードがオフになります。

再生

デッキセクション



1. **IN/CUE (IN ADJUST) ボタン** (79 ページ、82 ページ)
2. **OUT (OUT ADJUST) ボタン** (82 ページ、83 ページ)
3. **RELOOP/EXIT ボタン** (85 ページ)
4. **DECK SELECT ボタン**
操作するデッキを切り替えます。
5. **CUE/LOOP CALL ◀, ▶ ボタン** (80 ページ、84 ページ、86 ページ)
6. **4 BEAT LOOP (1/2X), 8 BEAT LOOP (2X) ボタン** (82 ページ、83 ページ、84 ページ)
7. **BEAT JUMP ◀, ▶ ボタン** (87 ページ)
8. **SLIP ボタン** (90 ページ)

9. **SLIP REV ボタン** (71 ページ)
逆再生またはスリップリバースをしているときに点灯します。
10. **SHIFT ボタン**
11. **TRACK SEARCH** |◀◀, ▶▶| ボタン
トラックを頭出しします。
12. **SEARCH** ◀◀, ▶▶ ボタン
トラックを早送り/早戻しします。
13. **CUE ボタン** (79 ページ)
14. **▶/|| ボタン**
トラックを再生/一時停止します。
15. **QUANTIZE (デッキ用) ボタン** (88 ページ)
16. **DELETE ボタン** (81 ページ、86 ページ)
17. **MEMORY ボタン** (80 ページ、86 ページ)
18. **BEAT SYNC (INST.DOUBLES) ボタン** (91 ページ)
19. **MASTER ボタン** (91 ページ)
20. **KEY SYNC ボタン** (94 ページ)
21. **TEMPO ±6/±10/±16/WIDE ボタン**
TEMPO スライダーの可変範囲を切り替えます。
22. **MASTER TEMPO ボタン**
マスターテンポのオン/オフを切り替えます。
23. **TEMPO RESET ボタン、TEMPO RESET インジケーター**
TEMPO スライダーの位置に関係なく、オリジナルの再生速度でトラックを再生します。
TEMPO RESET をオンにするとインジケーターが点灯します。
24. **TEMPO スライダー** (73 ページ)

再生 / 一時停止する

1 [▶/⏸] ボタンを押す

- 一時停止中：再生を開始します。
- 再生中：一時停止します。
- UTILITY設定の[Play Mode]が[Single]に設定されているときは、次のトラックは再生されません（135 ページ）。
- VINYLモードで一時停止すると無音になります。通常モードで一時停止すると音声は途切れ途切れに出力されます（77 ページ）。

全体波形上の触れた位置から再生する

1 一時停止中、またはVINYLモードでジョグダイヤルの天面を押しているときに、全体波形をタッチする

タッチした位置から再生を開始します。

- 全体波形にタッチしたまま指を移動させると、目的の位置まですばやく移動できます。

逆再生する

❖ スリップリバーズ

1 [SLIP REV] ボタンを押し続ける

逆再生を開始するとボタンが点灯し、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

- 操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

❖ リバース

1 [SHIFT] ボタンを押しながら [SLIP REV] ボタンを押す

逆再生を開始すると、ボタンが点灯します。

- ジョグの回転方向に応じた音の加速、減速も逆になります。
- トラックをまたいだ逆再生はできません。
- 逆再生中に、頭出し（トラックサーチ）やループ再生などの操作を行うと、スクラッチできないことがあります。

再生中の基本操作

機能	説明
早送り / 早戻し	[SEARCH ◀▶, ▶▶] ボタンを押し続けている間、早送り / 早戻しします。
頭出し（トラックサーチ）	[TRACK SEARCH ▶▶] ボタンを押すと、次のトラックの先頭にジャンプします。 [TRACK SEARCH ◀◀] ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭に戻ります。2回続けて押すと、ひとつ前のトラックの先頭にジャンプします。
フレームサーチ	一時停止中に [SEARCH ◀▶, ▶▶] ボタンを押すと、一時停止位置を移動します。

再生速度を調整する（テンポコントロール）

1 TEMPO スライダーを動かす

- [＋]側に動かす：再生速度が速くなります。
 - [－]側に動かす：再生速度が遅くなります。
- [TEMPO ±6/±10/±16/WIDE] ボタンを押すたびにTEMPOスライダーの可変範囲が±6 (0.02%) → ±10 (0.05%) → ±16 (0.05%) → WIDE (0.5%) と切り替わります*。
[WIDE]の調整範囲は±100%です。-100%に設定すると、再生が停止します。
* ()内は調整単位。

音程を変えずに再生速度を調整する（マスターテンポ）

マスターテンポをオンにすると、TEMPOスライダーで再生速度を変えても音程が変わりません。

1 [MASTER TEMPO] ボタンを押して、マスターテンポをオンにする

- マスターテンポをオンにすると、ボタンが点灯します。
- もう一度[MASTER TEMPO] ボタンを押すと、マスターテンポがオフになります。

再生中以外の音声をモニターする (TOUCH CUE)

再生中に全体波形をタッチすると、再生中の音声を出力しながら、波形をタッチしている間、タッチした位置からの音声をモニターできます。

1 ヘッドホンを接続する

- ☛ 「本体フロント部」 (34 ページ)

2 [LINK CUE] ボタンを押す

- ☛ 「ヘッドホンセクション」 (111 ページ)

3 WAVEFORM 画面で、全体波形をタッチする

タッチした位置の音声をヘッドホンでモニターできます。

- タッチした位置の波形が拡大波形に表示されます。

録音

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力される音声と同じ音声を USB デバイスに WAV ファイルとして録音できます。

- 録音ファイルの名称は“REC***.WAV”（*** は 3 桁の数字）となります。
- 本機は時計機能がないため、USB デバイスへ録音した際に日付や時刻の情報を書き込むことはできません。

1 USB デバイス挿入口に USB デバイスを挿入する

☞ 「USB セクション」 (51 ページ)

2 [MIXER SETTINGS] ボタンを押す

[MIXER SETTINGS]画面が表示されます。

3 録音するデバイスを選択し、[Rec] をタッチする

録音を開始します。

- 入力切替えて[Bluetooth]を選択しているときは、録音を開始できません。
- 1GBの空き容量のUSBデバイス、約90分間の録音ができます。
- もう一度[Rec]をタッチすると、[Rec]が消灯し録音を終了します。

録音しながらトラックを分割する

1 [MIXER SETTINGS] ボタンを押す

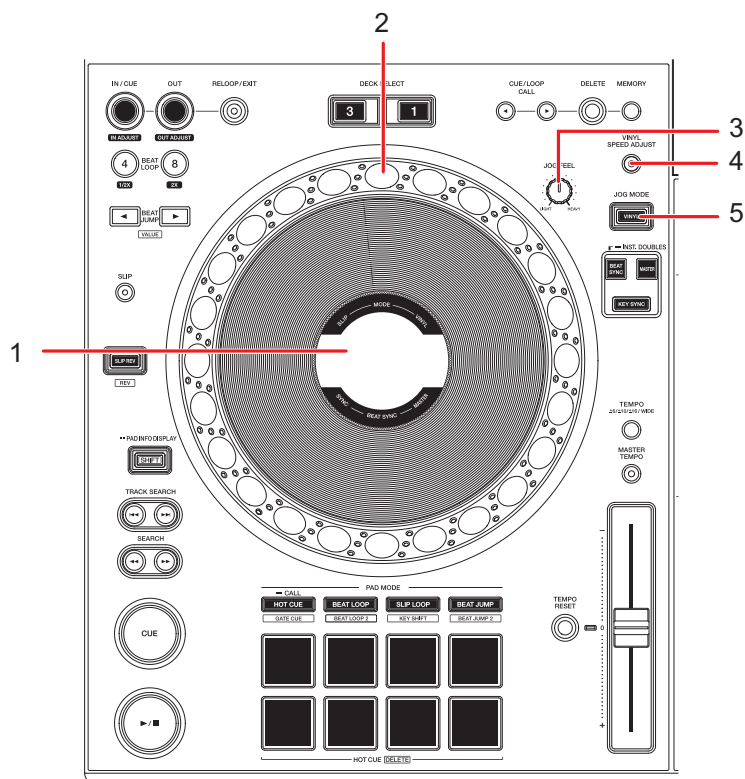
[MIXER SETTINGS]画面が表示されます。

2 録音中に [Track Mark] をタッチする

[Track Mark] をタッチした位置でファイルを分割し、分割した位置以降を新しい音声ファイルとして録音を続けます。

ジョグの操作

ジョグセクション



1. ジョグ表示 (45 ページ)
2. ジョグ
 - ジョグの天面にはセンサーが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
3. JOG FEEL ノブ
ジョグの回転負荷を調整します。
4. VINYL SPEED ADJUST ボタン
VINYL モードの、再生と停止の速度調整機能のオン/オフを切り替えます。
5. VINYL (JOG MODE) ボタン
ジョグの操作モードを切り替えます。

操作モードを切り替える

1 [VINYL (JOG MODE)] ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のモードが切り替わります。VINYLモードのときに、ボタンが点灯します。

- **VINYLモード**：再生中にジョグ天面を押すと再生を停止し、そのまま回すとスクラッチできます。
- **通常モード**：ジョグの天面の操作で、再生の停止やスクラッチはできません。

ジョグを操作する

ジョグで以下の操作が可能です。

機能	説明
ピッチベンド	再生中に外周部分を右に回すと再生速度が加速し、左に回すと減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> • ジョグモードが通常モードのときは、ジョグの天面を押しながら回すことによって、同じ操作ができます。
スクラッチ	ジョグモードがVINYLモードのときに、再生中にジョグの天面を押したまま回転させるとスクラッチできます。ジョグの天面から手を離すと、通常の再生に戻ります。
フレームサーチ	一時停止中にジョグを回すと一時停止位置を移動します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1回転で1.8秒移動します。
スーパーファストサーチ	[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタン、または [SHIFT] ボタンを押しながらジョグを回すと、高速で早送り/早戻しします。
スーパーファストトラックサーチ	[TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押しながらジョグを回すと、回転方向に高速でトラックを送ります。

ジョグの回転負荷を調整する

1 [JOG FEEL]ノブを回す

- 右に回す：負荷が重くなります。
- 左に回す：負荷が軽くなります。

再生と停止の速度を調整する (VINYLモード)

以下の速度を調節します。

- ジョグの天面を押す、または▶/|||ボタンを押してから再生が減速して停止するまでの速度
- ジョグの天面を離す、または▶/|||ボタンを押してから通常の再生に戻るまでの速度

1 [SHORTCUT]ボタンを押す

[SHORTCUT]画面が表示されます。

2 [Vinyl Speed Adjust]で調整方法を選択する

- [Touch]：再生が減速して停止するまでの速度を調整します。
- [Release]：通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
- [Touch & Release]：再生が減速して停止するまでの速度と、通常の再生に戻るまでの速度を調整します。

3 [Vinyl Speed Adjust Time]で速度を設定する

4 [VINYL SPEED ADJUST]ボタンを押す

[VINYL SPEED ADJUST]の設定が有効になります。

キュー

あらかじめ設定されているポイントを瞬時に呼び出します。

キューポイントを設定する

❖ 一時停止中

1 [CUE] ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 一時停止中に[SEARCH ◀▶] ボタンを押す、またはジョグを回すと、一時停止位置を微調整（0.5フレーム単位）できます。

❖ 再生中

1 [IN/CUE (IN ADJUST)] ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 新しいキューポイントを設定すると、既存のキューポイントは解除されます。
- UTILITY 設定の[**Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue)**] を[On]に設定しているときは、ホットキューを設定する、またはホットキューから再生を開始すると、そのポイントが新しいキューポイントとして設定されます（134 ページ）。

キューポイントに戻る

1 再生中に[CUE] ボタンを押す

キューポイントに戻り、キュー待機になります。

- キューポイントにコメントが設定されているときは、トラック名表示部にコメントが表示されます。

キューポイントを確認する（キューポイントサンプラー）

1 キューポイントに戻る

- ☛ 「キューポイントに戻る」(79 ページ)

2 [CUE] ボタンを押し続ける

[CUE] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

- ▶/|| ボタンを押すと、[CUE] ボタンを離しても再生を続けます。

キューポイントを保存する

1 キューポイントを設定する

- ☛ 「キューポイントを設定する」(79 ページ)

2 [MEMORY] ボタンを押す

保存したキューポイントを呼び出す

1 キューポイントを呼び出すトラックをロードする

2 [CUE/LOOP CALL ◀, ▶] ボタンを押す

- 呼び出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。

保存したキューポイントを削除する

1 保存したキューポイントを呼び出す

- ☐ 「保存したキューポイントを呼び出す」 (80 ページ)

2 [DELETE] ボタンを押す

オートキューを設定する

トラックをロードしたときや頭出し（トラックサーチ）したときに、トラックの音声が始まる直前に（無音部を飛ばして）自動でキューポイントを設定します。

1 WAVEFORM 画面の [A. CUE] をタッチして、オートキューをオンにする

- 電源をオフにしてもオートキューの設定は保持されます。
- UTILITY 設定の [Auto Cue Level] で、無音部として認識する音圧レベルを設定できます (135 ページ)。

ループ

指定した区間を繰り返し再生します。

ループを設定する

手動設定

- 1 再生中に、ループ再生を開始する位置（ループインポイント）で **[IN/CUE (IN ADJUST)]** ボタンを押す
- 2 ループ再生を終了する位置（ループアウトポイント）で **[OUT (OUT ADJUST)]** ボタンを押す

設定した区間のループ再生を開始します。

自動設定

❖ 4ビートループ

- 1 再生中に **[IN/CUE (IN ADJUST)]** ボタンを長押しする

トラックのBPMに合わせて、押した位置から4拍のループ再生を開始します。

- トラックのBPM が検知できないときは、BPM は120に設定されます。

❖ 4 BEAT LOOP (1/2X) ボタンを使う

- 1 再生中に **[4 BEAT LOOP (1/2X)]** ボタンを押す

ボタンを押した位置から、トラックのBPMに合わせ4拍のループ再生を開始します。

- トラックのBPM が検知できないときは、BPM は 120 に設定されます。

❖ 8 BEAT LOOP (2X) ボタンを使う

1 再生中に [8 BEAT LOOP (2X)] ボタンを押す

ボタンを押した位置から、トラックのBPMに合わせ8拍のループ再生を開始します。

- トラックのBPM が検知できないときは、BPM は 120 に設定されます。

ループポイントを微調整する

1 ループ再生中に、[IN/CUE (IN ADJUST)] または [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループアジャストモードに切り替わります。

- [IN/CUE (IN ADJUST)] : ループインポイントを調整します。
- [OUT (OUT ADJUST)] : ループアウトポイントを調整します。

2 ジョグを回してループポイントを微調整する

- もう一度 [IN/CUE (IN ADJUST)] または [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押すか、10 秒以上何も操作しないとループアジャストモードが解除されます。

ループの長さを調整する

ループを半分の長さにする

- 1 ループ再生中に **[4 BEAT LOOP (1/2X)]** または **[CUE/LOOP CALL ◀]** ボタンを押す

ループの長さが半分になります。

ループを2倍の長さにする

- 1 ループ再生中に **[8 BEAT LOOP (2X)]** または **[CUE/LOOP CALL ▶]** ボタンを押す

ループの長さが倍になります。

ループインポイントに戻ってループ再生する（リトリガー）

- 1 ループ再生中に **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[IN/CUE (IN ADJUST)]** ボタンを押す

再生位置がループインポイントに戻り、ループ再生します。

アクティブループを使う

あらかじめ rekordbox で、保存されたループの1つをアクティブループに設定してください。

1 アクティブループを設定したトラックをロードする

再生位置が設定ポイントを通過すると、自動でループ再生を開始します。

ループ再生を解除する

1 ループ再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループ再生が解除されます。

- もう一度 [RELOOP/EXIT] ボタンを押すと、設定されているループインポイントからループ再生を開始します。

エマージェンシーループ

本機は、トラックを再生し続けられなくなった場合の音切れを防ぐため、自動でビートループを設定します。

- エマージェンシーループ中は DJプレイが制限されます。
- エマージェンシーループを解除するには、次のトラックをロードしてください。
- ファイルキャッシュが完了しているときは、エマージェンシーループが設定されずにそのまま制限つきで再生を継続します。

ループポイントを保存する

- 1 ループポイントを設定する
 - ☐ 「ループを設定する」 (82 ページ)
- 2 **[MEMORY]** ボタンを押す

保存したループポイントを呼び出す

- 1 ループポイントを呼び出すトラックをロードする
 - 2 **[CUE/LOOP CALL ◀, ▶]** ボタンを押す
- 呼び出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。

保存したループポイントを削除する

- 1 保存したループポイントを呼び出す
 - ☐ 「保存したループポイントを呼び出す」 (86 ページ)
 - 2 **[DELETE]** ボタンを押す
- アクティブループに設定されているループを削除した場合は、アクティブループも削除されます (85 ページ)。

ビートジャンプ/ループムーブ

再生位置を、ボタンを押した位置から、設定した拍数でジャンプします。

ビートジャンプ/ループムーブを使う

1 再生中に[BEAT JUMP ◀, ▶]ボタンを押す

ボタンを押した位置から、設定されている拍数でジャンプします。

- ループ再生中の場合は、設定されている拍数でループが移動します。
- [SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT JUMP ◀, ▶]を押すと、設定されている拍数を変更できます。

クオンタイズ（デッキ用）

キュー、ループインポイント、ループアウトポイント、ホットキューを設定する際に、ビートとタイミングがずれた場合でも、自動で最も近い拍位置にポイントを合わせます。

また、ホットキュー、ループ、逆再生、スリップなどをリズムを崩さずに使用できます。

- rekordboxや本機で解析されていないトラックはクオンタイズ機能を使用できません。rekordboxでトラックを解析する方法については、rekordboxの操作説明書を参照してください(9 ページ)。
- クオンタイズに設定されている拍数は、UTILITY 設定の[Quantize Beat Value (Deck)] (134 ページ) または[SHORTCUT] 画面の[Quantize Beat Value] で設定できます (148 ページ)。

クオンタイズを使う

1 [QUANTIZE] ボタンを押す

クオンタイズ機能がオンになり、WAVEFORM画面のデッキ情報表示部に[Q]とクオンタイズの拍数が、トラック番号の下に[QUANTIZE]が表示されます (40 ページ)。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [QUANTIZE] ボタンを押すと、[SHIFT] ボタンを押しているデッキのみ、クオンタイズ機能のオン/オフを切り替えることができます。
- もう一度[QUANTIZE] ボタンを押すと、クオンタイズ機能がオフになります。

スリップ

スリップモードをオンにすると、以下の操作中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

機能	説明
スリップポーズ	VINYL モード（77 ページ）で、再生中に [▶/] ボタンを押すと、一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップスクラッチ	VINYL モード（77 ページ）で、再生中にジョグの天面を操作してスクラッチすると、スクラッチ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップループ	ループ再生を開始すると（82 ページ）、ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップリバース	再生中に [SLIP REV] ボタンを押すと逆再生します。逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップホットキュー / ループ	再生中にホットキュー / ループが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押すと、ホットキュー / ループポイントに戻り、ボタンを押している間再生を続けます。ホットキュー / ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

スリップモードを設定する

1 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

- スリップ動作中は[SLIP] ボタンが点滅します。
- スリップモード中の現在再生位置は、WAVEFORM 画面の全体波形と拡大波形に黄色の線で表示されます。
バックグラウンドでの再生位置は、WAVEFORM 画面の全体波形に白色の線で表示されます。
- もう一度[SLIP] ボタンを押す、またはトラックをロードするとスリップモードがオフになります。

ビートシンク

ビートシンクをオンにすると、本機のデッキで再生するトラックのテンポ(BPM)と拍位置を自動で合わせます。

- rekordbox で解析していないトラックはビートシンクできません。
- トラックのテンポ(BPM)と拍位置を、PRO DJ LINK接続されているDJ プレーヤー (シンクマスターに設定) に自動的に合わせることもできます。
- rekordbox for Mac/Windows をマスターにすることもできます。詳細については、rekordbox の操作説明書を参照してください (9 ページ)。

ビートシンクを使う

1 マスターにするデッキで、rekordbox または本機で解析済みのトラックを再生する

- マスターにするデッキで **[MASTER]** ボタンを押して、マスターを指定することもできます。

2 マスターにシンクさせるデッキで、rekordbox または本機で解析済みのトラックを再生する

3 マスターにシンクさせるデッキで **[BEAT SYNC (INST.DOUBLES)]** ボタンを押す

ビートシンクがオンになります。

- もう一度 **[BEAT SYNC (INST.DOUBLES)]** ボタンを押すと、ビートシンクがオフになります。

TEMPO スライダーの位置(BPM)が再生テンポ(BPM)と一致していないときは、ビートシンクの再生テンポを維持しています。再度トラックをロードしなおすか、TEMPO スライダーを再生テンポに合わせて通常の動作に戻り、TEMPO スライダーでテンポコントロールできるようになります。

インスタントダブルスを使う

DECK 1/3 と DECK 2/4 のいずれかの表デッキまたは PRO DJ LINK で接続されている DJ プレーヤー（シンクマスターに設定されているプレーヤー）で再生中のトラックの再生位置と同じ位置から、もう一方のデッキで再生を開始します。

1 再生位置を合わせて再生を開始したいデッキの[LOAD]ボタンを2回押す

- 再生位置を合わせて再生を開始したいデッキの[BEAT SYNC (INST.DOUBLES)]ボタンを長押ししてインスタントダブルスを開始することもできます。

ビートグリッド

拍位置（ビートグリッド）を調整します。

- rekordboxまたは本機で解析していないトラックは調整できません。

ビートグリッドを調整する

1 WAVEFORM 画面でロータリーセレクターを長押し、または画面の[ZOOM]/[GRID]をタッチする

GRID ADJUSTモードに切り替わります。

2 ロータリーセレクターを回して、ビートグリッドを調整する

- アクティブデッキのビートグリッドを調整することができます。
- 画面上の以下を使って調整することもできます。
 - **[SNAP GRID(CUE)]**：設定されているキューポイントに1拍目を移動します。
 - **[SHIFT GRID]**：同期中に調整した内容（ピッチベンドなど）を反映します。
 - **[<1/2]**、**[1/2>]**：1/2拍単位でビートグリッドを移動します。
- **[RESET]**をタッチすると、元のビートグリッドに戻ります。
- もう一度WAVEFORM画面でロータリーセレクターを長押し、または画面の**[ZOOM]/[GRID]**をタッチすると、ZOOMモードに戻ります。
- **[DECK SELECT]** ボタンで、アクティブデッキを切り替えることができます。

キーシンク

本機で再生中のトラックのキー（調）を、マスタープレーヤーにロードされているトラックのキーに合わせて調整します。

- rekordbox で解析していないトラックは調整できません。

キーシンクを使う

1 トラックがロードされているときに、[KEY SYNC]ボタンを押す

以下のうち、変化が少ないキーに調整します。

- 同じ調
- 属調
- 下屬調
- 平行調
- 属調の平行調
- 下屬調の平行調

- [KEY SYNC]または[MASTER TEMPO]ボタンを押すと、元のキーに戻ります。

キーシフト

音程を調整します。

キーシフトを使う

1 WAVEFORM画面で、キー表示の をタッチする

キーシフト画面が表示されます。

2 [-]または[+]をタッチして、キーを調整する

ボタンを押すごとに、半音ずつ変化します。

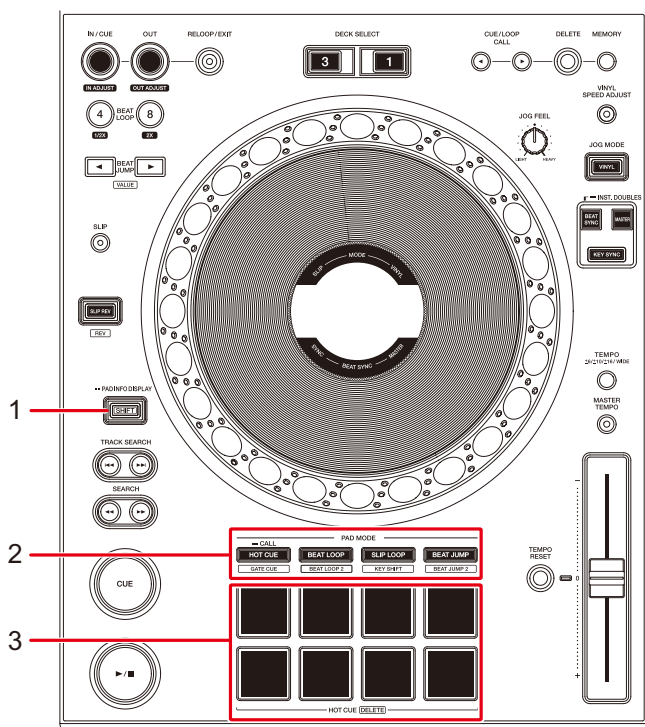


- [RESET] をタッチすると元の音程に戻ります。

パフォーマンスパッドの操作

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスを行うことができます。

パフォーマンスパッドセクション



1. SHIFT ボタン

2. パッドモードボタン

- **HOT CUE/CALL (GATE CUE) ボタン**：ホットキューモードまたはゲートキューモードに切り替えます。
- **BEAT LOOP (BEAT LOOP 2) ボタン**：ビートループモードに切り替えます。
- **SLIP LOOP (KEY SHIFT) ボタン**：スリッループモードまたはキーシフトモードに切り替えます。
- **BEAT JUMP (BEAT JUMP 2) ボタン**：ビートジャンプモードに切り替えます。

3. パフォーマンスパッド

ホットキュー / ゲートキュー

パフォーマンスパッドを押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。

ホットキューを設定する

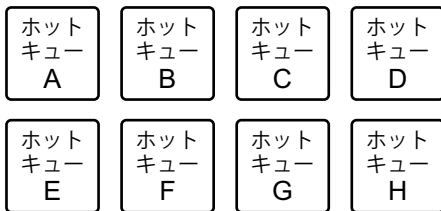
1 [HOT CUE/CALL (GATE CUE)] ボタンを押す

ホットキューモードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントが設定されます。

- 設定できるホットキューは、1トラックにつき8個までです。
- ホットキューは、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。



- ループ再生中の場合は、ループが設定されます。
- UTILITY設定の[**Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue)**]が[On]のときは、同時にキューポイントとして設定されます (134 ページ)。
- ホットキューが設定されているパフォーマンスパッドには、ホットキューを設定できません。新しく設定するには、設定されているホットキューを削除してください (99 ページ)。

パフォーマンスパッドの操作

- パフォーマンスパッドは、設定されている内容によって以下のように点灯します。rekordboxで、色を変更することもできます。

設定されている内容	UTILITY 設定の [Hot Cue Color] 設定	
	[Off]	[On]
キューポイント	緑	ボタン固定色
ループ	オレンジ	オレンジ
設定なし	点灯しない	点灯しない

ホットキューから再生する

1 [HOT CUE/CALL (GATE CUE)] ボタンを押す

ホットキューモードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューの再生を開始します。

- ループが設定されている場合は、ループ再生を開始します (82 ページ)。
- UTILITY 設定の [Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue)] が [On] のときは、同時にキューポイントとして設定されます (134 ページ)。

ホットキューからゲート再生する

- 1 ホットキューモードで**[HOT CUE/CALL (GATE CUE)]**ボタンを押す

ゲートキューモードに切り替わります。

- ホットキューモード以外のモードのときは、**[SHIFT]**ボタンを押しながら**[HOT CUE/CALL (GATE CUE)]**ボタンを押すと、ゲートキューモードに切り替えることができます。

- 2 一時停止中に、ホットキューが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押し続ける

ホットキューの再生を開始し、パッドを押している間再生を続けます。

- ループが設定されている場合は、ループ再生を開始します (82 ページ)。
- ゲート再生中に**[▶/||]**ボタンを押すと、パフォーマンスパッドを離しても再生を続けます。

ホットキューを削除する

- 1 **[HOT CUE/CALL (GATE CUE)]**ボタンを押す

ホットキューモードに切り替わります。

- 2 **[SHIFT]**ボタンを押しながら、いずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューが削除されます。

ホットキューを呼び出す

❖ 自動呼び出し

記録メディアに保存してあるホットキューを、トラックロード時に自動で呼び出します。

1 WAVEFORM画面で、[A. HOT CUE]をタッチしてオートホットキューをオンにする

- **[ON]**：すべてのトラックに“HJ”が表示され、トラックのロード時に自動でホットキューを呼び出します。
- **[OFF]**：トラックのロード時に、自動でホットキューを呼び出しません。
- UTILITY設定の**[Hot Cue Auto Load]**でもオンにすることができます（134 ページ）。

❖ 手動呼び出し

[Hot Cue Auto Load]が**[Off]**に設定されているときに自動呼び出しの条件を満たしていないときは、手動で呼び出すことができます。

1 [HOT CUE/CALL (GATE CUE)] ボタンを押す

ホットキューモードに切り替わります。

2 [HOT CUE/CALL (GATE CUE)] ボタンを長押しする

ホットキューが設定されているパフォーマンスパッドが点滅します。

3 いずれかのパフォーマンスパッドを押す

設定されているホットキューを呼び出します。

- 以下の操作を行うと、ホットキュー呼び出しモードがオフになります。
 - ホットキューをすべて呼び出す
 - **[HOT CUE/CALL (GATE CUE)]** ボタンを押す
 - 再生するトラックを変更する

ホットキューバンクリストを使う

あらかじめrekordbox for Mac/Windows を使って設定したホットキューバンクリストを、本機の[HOT CUE] (A~H) ボタンに設定します。

- ホットキューバンクリストは本機では編集できません。rekordbox を使用してください。詳しくは、下記のrekordbox サイトから操作説明書を参照してください。

rekordbox.com/manual

1 [BROWSE] ボタンを押す

[BROWSE]画面が表示されます。

2 カテゴリーで[HOT CUE]を選択する

ホットキューバンクリストが表示されます。

3 ホットキューバンクリストを選択する

選択したホットキューバンクリストに登録されているホットキューが表示されます。

4 ホットキューバンクリストで楽曲をタッチ、または楽曲を選択してロータリーセレクターを押す

ホットキューバンクリストに登録されているホットキューが、指定したデッキに設定されます。

ビートループ

パフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数または小節数のループが設定されます。

ビートループを使う

1 [BEAT LOOP (BEAT LOOP 2)] ボタンを押す

ビートループモードに切り替わります。

- ビートループモードで[BEAT LOOP (BEAT LOOP 2)] ボタンを押すと、BEAT LOOP モードとBEAT LOOP 2モードを切り替えることができます。
- ビートループモード以外のモードのときは、[SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT LOOP (BEAT LOOP 2)] ボタンを押すと、BEAT LOOP 2モードに切り替えることができます。

2 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されている拍数または小節数で、トラックのBPMに合わせてループ再生を開始します。ループ再生中は、パフォーマンスパッドが点滅します。

- ビートループの拍数または小節数設定は以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

BEAT LOOP モード：

1/4 拍	1/2 拍	1 拍	2 拍
4 拍	8 拍	16 拍	32 拍

BEAT LOOP 2 モード：

3/4 拍	1 拍	3/2 拍	3 拍
5 拍	6 拍	7 拍	9 拍

- 点滅しているパフォーマンスパッドを押す、または[RELOOP/EXIT] ボタンを押すと、ループ再生を解除します。

- トラックのBPMが検知できないときは、BPMは120に設定されます。

スリップループ

スリップのオン/オフに関わらず、パフォーマンスパッドを押している間スリップループ再生を続けます。

スリップループを使う

1 [SLIP LOOP (KEYSHIFT)] ボタンを押す

スリップループモードに切り替わります。

2 いずれかのパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されてる拍数または小節数で、トラックのBPMに合わせてループ再生を開始します。パフォーマンスパッドを押している間スリップループ再生を続けます。

- ループの拍数または小節数設定は以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

1/16 拍	1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍
1 拍	2 拍	1/3 拍	3/4 拍

- スリップループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。
- パフォーマンスパッドを離すとスリップループ再生が解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。
- トラックのBPMが検知できないときは、BPMは120に設定されます。

キーシフト

パフォーマンスパッドを押して、キーを調整します。

キーシフトを使う

1 スリップループモードで[SLIP LOOP (KEYSHIFT)]ボタンを押す

キーシフトモードに切り替わります。

- スリップループモード以外のモードのときは、[SHIFT]ボタンを押しながら[SLIP LOOP (KEYSHIFT)]ボタンを押すと、キーシフトモードに切り替えることができます。

2 いずれかのパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドを押して、キーを調整します。

- キーシフトは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

Key Sync	Semitone Up	+7	+12
Key Reset	Semitone Down	-5	-12

- **[Key Sync]**：再生中のトラックのキー（調）を、マスタープレーヤーにロードされているトラックのキーに合わせて調整します。
- **[Semitone Up/Semitone Down]**：キー（調）を半音単位で変化させます。
- **[+7/+12/-5/-12]**：指定のシフト量で、オリジナルキーからキーシフトします。
- **[Key Reset]**：キーシフトによるシフト量を0に戻します。

ビートジャンプ/ループムーブ

再生中のトラックのリズムを崩さずに、瞬時に再生位置を移動します。

ビートジャンプ/ループムーブを使う

1 [BEAT JUMP (BEAT JUMP 2)] ボタンを押す

ビートジャンプモードに切り替わります。

- ビートジャンプモードで[BEAT JUMP (BEAT JUMP 2)] ボタンを押すと、BEAT JUMP モードとBEAT JUMP 2モードを切り替えることができます。
- ビートジャンプモード以外のモードのときは、[SHIFT] ボタンを押しながら[BEAT JUMP (BEAT JUMP 2)] ボタンを押すと、BEAT JUMP 2モードに切り替えることができます。

2 いずれかのパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられた拍数または小節数で、再生位置を移動します。

- ジャンプする拍数または小節数設定は以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

BEAT JUMP モード：

1/2 拍 REV	1/2 拍 FWD	1 拍 REV	1 拍 FWD
2 拍 REV	2 拍 FWD	4 拍 REV	4 拍 FWD

BEAT JUMP 2モード：

8 拍 REV	8 拍 FWD	16 拍 REV	16 拍 FWD
32 拍 REV	32 拍 FWD	64 拍 REV	64 拍 FWD

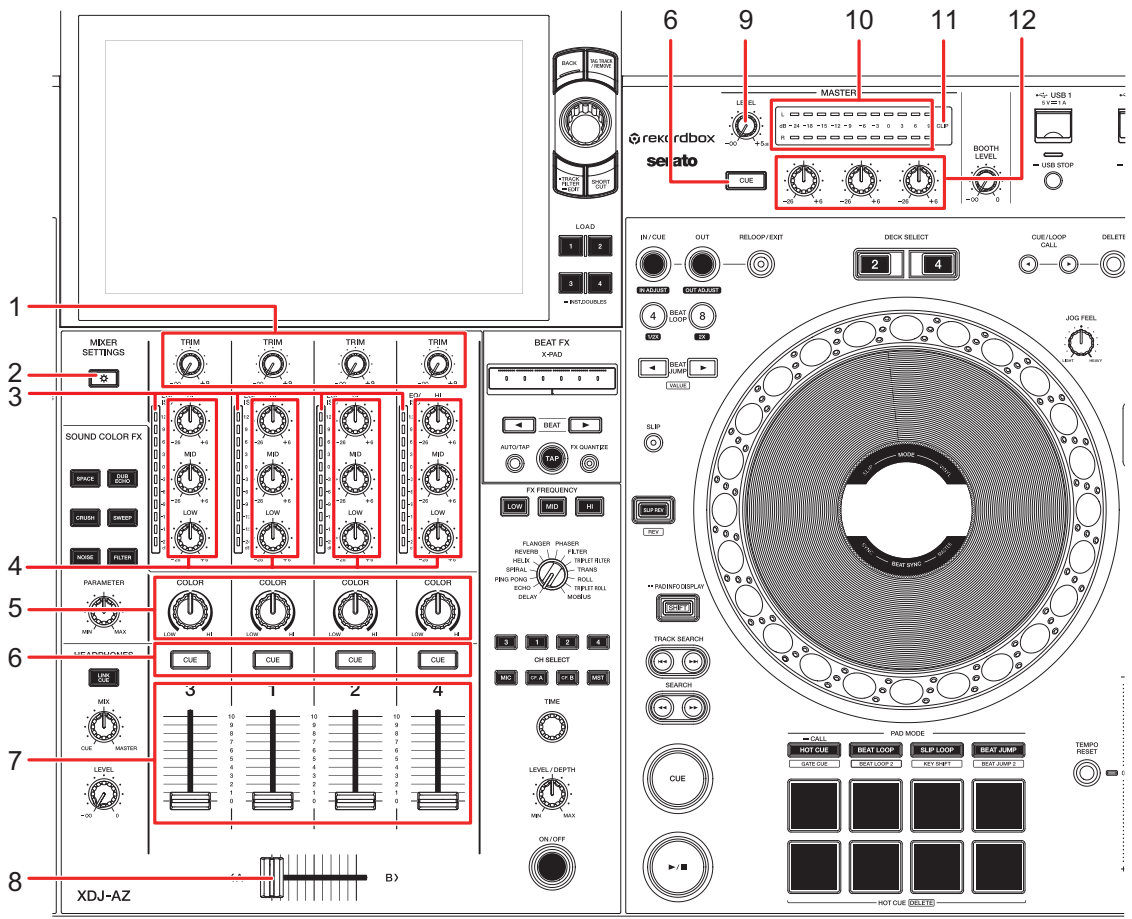
- ループ再生中の場合は、設定されている拍数でループが移動します。

音声出力

以下の操作を行って、音声を出力します。

- 「音声を出力する」 (108 ページ)
- 「音質を調整する」 (109 ページ)
- 「フェーダーを設定する」 (110 ページ)

チャンネルセクション/マスターセクション



❖ チャンネルセクション

1. TRIM ノブ

チャンネルの入力音声の音量を調整します。

2. MIXER SETTINGS ボタン

[MIXER SETTINGS]画面を開きます (149 ページ)。

3. チャンネルレベルインジケータ

チャンネルフェーダー通過前の音量を表示します。

4. EQ/ISO (HI, MID, LOW) ノブ

各音域の音質を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- [HI] : $-\infty$ dB ~ +6 dB(ISO)/-26 dB ~ +6 dB(EQ)
- [MID] : $-\infty$ dB ~ +6 dB(ISO)/-26 dB ~ +6 dB(EQ)
- [LOW] : $-\infty$ dB ~ +6 dB(ISO)/-26 dB ~ +6 dB(EQ)

5. COLOR ノブ (119 ページ)

6. CUE ボタン (112 ページ)

7. チャンネルフェーダー

UTILITY設定または[MIXER SETTINGS]画面の[Channel Fader Curve]で指定されているカーブ特性 (137 ページ、150 ページ) にしたがって、音声を出力します。奥側へスライドすると音量が上がり、手前へスライドすると音量が下がります。

8. クロスフェーダー

UTILITY設定の[DECK1/2/3/4 Crossfader Assign](138 ページ)または[MIXER SETTINGS]画面の[Cross Fader Assign] (150 ページ) で割り当てられた音声を、[Crossfader Curve]で設定したカーブ特性にしたがって出力します (137 ページ、150 ページ)。

❖ マスターセクション

9. MASTER LEVEL ノブ

マスター音声の音量を調整します。

10. マスターレベルインジケータ

[MASTER 1]、[MASTER 2]端子に出力するマスター音声の音量を表示します。

11. CLIP インジケータ

[MASTER 1]、[MASTER 2]端子から過大音量が出力されたときに点滅します。

12. マスター EQ (HI, MID, LOW) ノブ

マスターの音質を調整します。

音声を出力する

チャンネル入力音量を調整する

- 1 **[MIXER SETTINGS]** ボタンを押す、または **[MENU]** ボタンを長押しする

[MIXER SETTINGS]画面または[UTILITY]画面が表示されます。

- 2 **[DECK3/4 Input Select]** で入力ソースを選ぶ

- DECK 1/DECK 2の音声を出力するときは、この操作は必要ありません。

- 3 **[TRIM]** ノブを回して、入力音声の音量を調整する

音声が入力されると、チャンネルレベルインジケーターが点灯します。

チャンネル出力音量を調整する

- 1 チャンネルフェーダーを動かして、出力音声の音量を調整する

- 2 **[MIXER SETTINGS]** ボタンを押す、または **[MENU]** ボタンを長押しする

[MIXER SETTINGS]画面または[UTILITY]画面が表示されます。

- 3 **[Crossfader Assign]** または **[DECK1/2/3/4 Crossfader Assign]** で、チャンネルの出力先を選択する

- 4 クロスフェーダーを動かして、出力音声を調整する

- **[THRU]** に設定しているときは、この操作は必要ありません。

マスター音量を調整する

1 [MASTER LEVEL]ノブを回して、マスター音声の音量を調整する

マスター音声が出力されると、マスターレベルインジケーターが点灯します。

音質を調整する

1 [EQ/ISO (HI, MID, LOW)]ノブを回して、各音域の音質を調整する

- UTILITY設定または[MIXER SETTINGS]画面の[EQ / ISO]で、[EQ/ISO (HI, MID, LOW)]ノブで調整する機能（イコライザーまたはアイソレーター）を設定します（137ページ、150ページ）。

2 マスター EQ [HI, MID, LOW]ノブを回して、各音域の音質を調整する

- UTILITY設定の[Master EQ]で、マスター EQ [HI, MID, LOW]ノブの機能（[Master Out]または[Master and Booth Out]）を切り替えることができます（138ページ）。

フェーダーを設定する

チャンネルフェーダーとクロスフェーダーを設定します。

チャンネルフェーダーを設定する

- 1 **[MIXER SETTINGS]** ボタンを押す、または **[MENU]** ボタンを長押しする

[MIXER SETTINGS] 画面または **[UTILITY]** 画面が表示されます。

- 2 **[Channel Fader Curve]** で、チャンネルフェーダーカーブを設定する

☛ 「Channel Fader Curve」 (137 ページ、150 ページ)

クロスフェーダーを設定する

- 1 **[MIXER SETTINGS]** ボタンを押す、または **[MENU]** ボタンを長押しする

[MIXER SETTINGS] 画面または **[UTILITY]** 画面が表示されます。

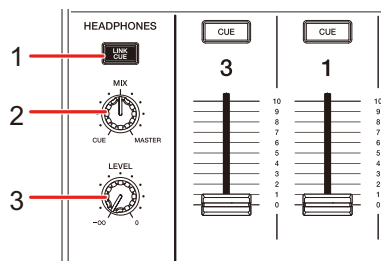
- 2 **[Crossfader Curve]** で、クロスフェーダーカーブを設定する

- □: クロスフェーダーを一方 (**[A]** または **[B]** 側) からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が急峻に立ち上がります (例: **[A]** 側から離れるとすぐに **[B]** 側の音声が出力されます)。
- ㄨ: ㄨ と □ の中間の設定です。
- ㄨ: クロスフェーダーを一方 (**[A]** または **[B]** 側) からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が徐々に立ち上がります (例: **[A]** 側から離れると **[B]** 側の音声は徐々に大きくなり、**[A]** 側の音声は徐々に小さくなります)。

☛ 「Crossfader Curve」 (137 ページ、150 ページ)

音声モニター

ヘッドホンセクション



1. **LINK CUE** ボタン (59 ページ)
2. **MIX** ノブ

[**CUE**] ボタンで選択しているチャンネルの音声とマスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

- チャンネルの音声のみをモニターしたいときは [**CUE**] に、マスターチャンネルの音声のみをモニターしたいときは [**MASTER**] に合わせてください。

3. **LEVEL** ノブ

ヘッドホンから出力する音量を調整します。

- LINK CUE の音量は、[**MIXER SETTINGS**] 画面または UTILITY 設定の [**LINK Preview Volume**] でも調整できます (138 ページ、150 ページ)。

ヘッドホンで音声をモニターする

1 PHONES 端子にヘッドホンを接続する

☛ 「本体フロント部」(34 ページ)

2 モニターしたいチャンネルの[CUE] ボタンを押す

- UTILITY 設定または[MIXER SETTINGS]画面の[Headphones Stereo / Mono Split]で、ヘッドフォンの出力音声(Stereo/Mono Split)を設定できます(138 ページ、150 ページ)。

3 [MIX] ノブを回して、チャンネルとマスター音声の音量バランスを調整する

4 [LEVEL] ノブを回して、音量を調整する

SonicLink ヘッドホンで音声をモニターする

1 [MENU] ボタンを長押しする

[UTILITY]画面が表示されます。

2 Mixer カテゴリーで[SonicLink]を選択する

[SonicLink]画面が表示されます。

3 SonicLink をオンにする

SonicLink ヘッドホンインジケーターがゆっくり点滅します。

4 [PAIRING] ボタンを長押しする

本機がペアリング状態になります。

- ペアリング状態中は、SonicLink ヘッドホンインジケーターが高速で点滅します。

- 本機は直前にペアリングしたSonicLinkヘッドホンを記憶しており、次回使用する際に**[PAIRING]**ボタンを長押しなくても、自動的にペアリングします。

☛ 「本体フロント部」 (34 ページ)

5 SonicLinkヘッドホンの電源を入れて、ペアリング状態にする

- SonicLinkヘッドホンの操作については、SonicLinkヘッドホンに付属の使用説明書を参照してください。

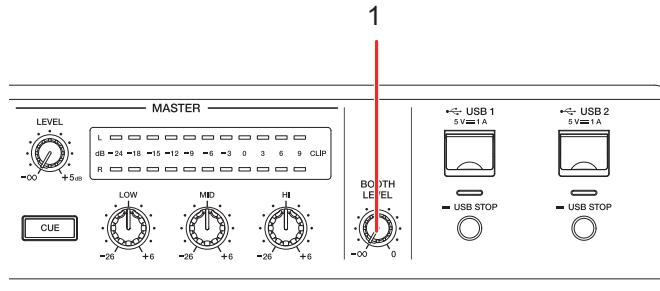
6 モニターするチャンネルの**[CUE]**ボタンを押す

- UTILITY設定または**[MIXER SETTINGS]**画面の**[Headphones Stereo / Mono Split]**で、ヘッドフォンの出力音声(Stereo/Mono Split)を設定できます (138 ページ、150 ページ)。

7 **[MIX]**ノブを回して、チャンネルとマスター音声の音量バランスを調整する

8 **[LEVEL]**ノブを回して、音量を調整する

BOOTH セクション



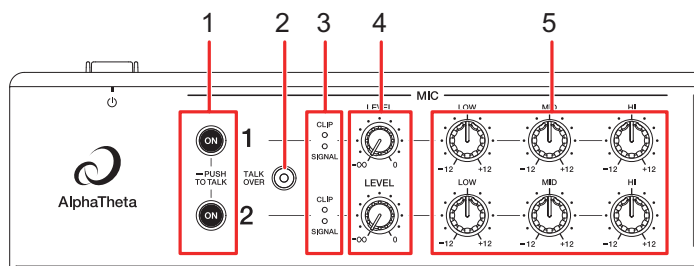
1. **BOOTH LEVEL ノブ**
BOOTH モニター 音声の音量を調整します。

BOOTH モニターを使う

- 1 [BOOTH] 端子に BOOTH モニター用の機器を接続する
 - ☐ 「本体リア部」 (34 ページ)
- 2 [BOOTH LEVEL] ノブを回して、出力音声の音量を調整する

マイク

MIC セクション



1. ON ボタン

マイク音声出力のオン/オフを切り替えます。オンのときにボタンが点灯します。長押しすると、ボタンを押している間マイクがオンになり、離すとオフになります（プッシュトゥーク機能）。

2. TALK OVER ボタン

トークオーバーのオン/オフを切り替えます。オンのときにマイクに音声が入力されると、マイクチャンネル以外の音量が減衰します。

- Talkoverモードと音声減衰レベルは、UTILITY設定の[Talkover Mode]や[Talkover Level]で変更できます（139 ページ）。

3. CLIP/SIGNAL インジケータ

4. LEVEL ノブ

[MIC 1]、[MIC 2]端子から入力する音量を調整します。

5. MIC EQ (HI, MID, LOW) ノブ

[MIC 1]、[MIC 2]端子から入力する音声の音質を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- [HI] : -12 dB ~ +12 dB(10 kHz)
- [MID] : -12 dB ~ +12 dB(2.5 kHz)
- [LOW] : -12 dB ~ +12 dB(100 Hz)

マイクを使う

1 [MIC 1]または[MIC 2]端子にマイクを接続する

☞ 「本体リア部」(34 ページ)

2 [ON]ボタンを押して、オンにする

オンにすると、[ON]ボタンが点灯します。

3 [LEVEL]ノブを回して、マイク音声の音量を調整する

• 右に回しすぎると、大音量で出力されます。ご注意ください。

4 MIC EQ [HI, MID, LOW]ノブを回して、各音域の音質を調整する

5 マイクに音声を入力する

マイクのハウリングを低減する (FEEDBACK REDUCER)

マイクのハウリングが発生したときに、周波数を検出し、検出された周波数帯域だけを除去して音質への影響を最低限に抑えながらハウリングを低減します。

1 [MIXER SETTINGS] ボタンを押す、または [MENU] ボタンを長押しする

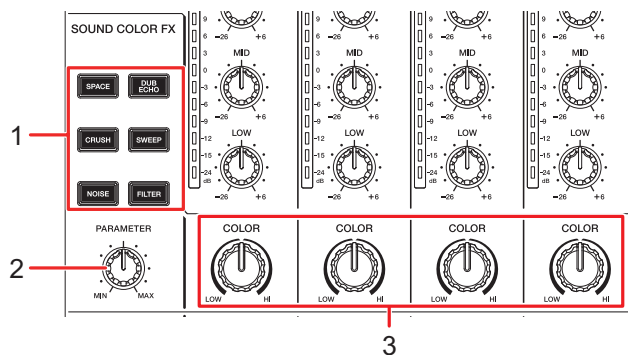
[MIXER SETTINGS]画面または[UTILITY]画面が表示されます。

2 [Feedback Reducer] で、モードを選ぶ

- [Heavy]：フィルターでカットする周波数帯域が広く、スピーチや MC など、ハウリングの低減を優先させたいときに選びます。
- [Light]：フィルターでカットする周波数帯域が狭く、歌やラップなどのパフォーマンスなど、音質を優先させたいときに選びます。
- [Feedback Reducer] をオフにする場合は、[Off] を選択します。

SOUND COLOR FX

SOUND COLOR FX セクション



1. **SOUND COLOR FX ボタン**
SOUND COLOR FX を選択します。
2. **PARAMETER ノブ**
エフェクトの量的パラメーターを調整します。
3. **COLOR ノブ**
エフェクトを調整します。

SOUND COLOR FX を使う

📖 「SOUND COLOR FXの種類と設定方法」(120 ページ)

1 使用するエフェクトの[SOUND COLOR FX]ボタンを押す

使用中のエフェクトのボタンが点滅します。

- CH 1～CH 4に選択したエフェクトが加わります。

2 [COLOR]ノブを回して、エフェクトを調整する

ノブを回したチャンネルの音声のエフェクトを調整します。

3 [PARAMETER] ノブを回して、エフェクトの量的パラメーターを調整する

- もう一度使用中の[SOUND COLOR FX]ボタンを押すと、エフェクトがオフになります。

SOUND COLOR FXの種類と設定方法

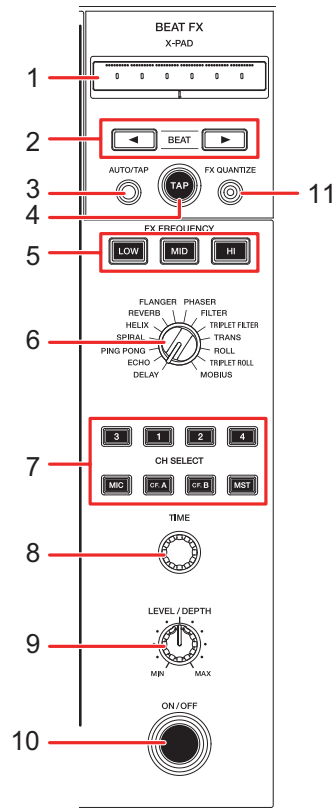
ノブの操作で下記の内容を設定できます。

エフェクト / 操作	説明
SPACE	原音に残響効果を加えます。
<ul style="list-style-type: none"> • COLOR: 左に回す：中音域と低音域に残響効果を加えます。 右に回す：中音域と高音域に残響効果を加えます。 • PARAMETER: フィードバック 	
DUB ECHO	ディレイ音を減衰させながら数回出力して、反響効果を加えます。
<ul style="list-style-type: none"> • COLOR: 左に回す：中音域に反響効果を加えます。 右に回す：高音域に反響効果を加えます。 • PARAMETER: フィードバック 	
SWEEP	ノッチフィルターまたはバンドパスフィルターの効果を加えます。
<ul style="list-style-type: none"> • COLOR: 左に回す：ノッチフィルターの帯域幅が徐々に広くなります。 右に回す：バンドパスフィルターの帯域幅が徐々に狭くなります。 • PARAMETER: フィルターの中心周波数 	
NOISE	フィルターに通したホワイトノイズを、チャンネルの音声とミックスして出力します。
<ul style="list-style-type: none"> • COLOR: 左に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を上げます。 • PARAMETER: ノイズの音量 • EQ/ISO (HI、MID、LOW): ノイズの音質 	

エフェクト / 操作	説明
CRUSH	原音をクラッシュしたような音に変化させて出力します。
• COLOR:	左に回す：音声のひずみを増します。 右に回す：音声をクラッシュしてからハイパスフィルターを通過させます。
• PARAMETER:	クラッシュ効果
FILTER	フィルターを通した音声を出力します。
• COLOR:	左に回す：ローパスフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ハイパスフィルターのカットオフ周波数を上げます。
• PARAMETER:	レゾナンス

BEAT FX

BEAT FX セクション



1. X-PAD

タッチすると、エフェクトがオンになります。指を離すとエフェクトがオフになります。タッチしてなぞると、エフェクトの時間的/量的パラメーターを調節できます。

2. BEAT ◀, ▶ ボタン

エフェクト音を同期させる拍の倍率を設定します。

3. AUTO/TAP ボタン

BPMの測定方法(AUTO/TAP)を選択します。

- [AUTO]: 入力されている音声信号からBPMを自動測定します。本機の電源をオンにしたときは、[AUTO]に設定されます。
- [TAP]: [TAP]ボタンを指でたたいてBPMを手動で入力します。

4. TAP ボタン

BPMの測定モードが[TAP]のとき、ボタンを指でたたいて手動でBPMを入力します。

5. FX FREQUENCY (LOW, MID, HI) ボタン

BEAT FXを加える音域(Low、MID、HI)を選択します。選択されているボタンが点灯します。

6. BEAT FX切替えスイッチ

BEAT FXを選択します。

7. CH SELECT ボタン

エフェクトを加えるチャンネルを選択します。

8. TIME ノブ

時間的パラメーターを調節します。

9. LEVEL/DEPTH ノブ

- 左に回しきると、原音が出力されます。

10. ON/OFF ボタン

BEAT FXのオン/オフを切り替えます。オンになると、ボタンが点滅します。

11. FX QUANTIZE ボタン

BEAT FXのQUANTIZE機能をオンにすると、rekordboxまたは本機で解析された楽曲のGRID情報をもとに再生中のトラックのテンポとずれることなく音声にエフェクトを加えます。

BEAT FX を使う

📖 「BEAT FXの種類と設定方法」(126 ページ)

- 1 **BEAT FX切替えスイッチを回して、BEAT FXを選択する**
- 2 **[CH SELECT] ボタンを押して、BEAT FXを加えるチャンネルを選択する**
 - [MIC]を選択しているときは、[MIXER SETTINGS]またはUTILITY設定の[BEAT FX MIC]で、BEAT FXを加えるマイクを選択することができます(139ページ、150ページ)。
 - [MIC1] : MIC 1のみにBEAT FXを加えます。
 - [MIC2] : MIC 2のみにBEAT FXを加えます。
 - [MIC1+MIC2] : MIC 1とMIC 2にBEAT FXを加えます。
- 3 **[BEAT ◀, ▶] ボタンを押して、エフェクトを同期させる拍数の倍率を設定する**
- 4 **[FX FREQUENCY (LOW, MID, HI)] ボタンを押して、エフェクトを加える音域を選択する**
- 5 **[TIME] ノブや [LEVEL/DEPTH] ノブを回して、エフェクトを調整する**
- 6 **[ON/OFF] ボタンを押す、またはX-PADをタッチしてBEAT FXをオンにする**

選択したチャンネルの音声に、選択したエフェクトを加えます。

- もう一度[ON/OFF]ボタンを押す、またはX-PADを離すとBEAT FXがオフになります。
- BEAT FXのクオンタイズ機能をオンにすると、rekordboxまたは本機で解析された楽曲のGRID情報をもとに再生中のトラックのテンポとずれることなく音声にエフェクトを加えます。

BPMを手動で設定する (TAPモード)

1 再生中の音声の拍に合わせて、[TAP] ボタンを2回以上指でたたく

[TAP] ボタンを指でたたいた間隔の平均値がBPMに設定されます。

- [TAP] ボタンを使ってBPMを設定すると、拍の倍率は1/1に設定され、1拍の時間がエフェクトタイムに設定されます。
- [TAP] ボタンを押しながら [TIME] ノブを回すと、BPM値を1単位で調整できます。
- [TAP] ボタンを押しながら [BEAT ◀, ▶] ボタンを押すと、BPMを0.1単位で設定できます。

BEAT FXの種類と設定方法

ボタンやノブの操作で下記の内容を設定できます。

BEAT FX/ 操作	説明
DELAY ¹ ²	拍に合わせて、ディレイ音を1回出力します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：1～4 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD:	ディレイタイム
ECHO ¹ ²	拍に合わせて、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：1～4 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD:	ディレイタイム
PING PONG ¹ ²	拍に合わせて、左右でディレイタイムが異なるディレイ音を減衰させながら数回出力します。ステレオ感の効果が得られます。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：10～4 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD:	ディレイタイム

BEAT FX/ 操作	説明
SPIRAL ¹ ²	入力音に残響効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対してのディレイタイム (倍率) : 1/16~16拍
• TIME :	ディレイタイム : 10~4 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH :	原音とエフェクト音のバランスとフィードバック
• X-PAD :	ディレイタイム
HELIX	入力音を記録し、記録した音を設定した時間的パラメーターに合わせて繰り返し出力します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対してのエフェクト時間 (倍率) : 1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間 : 10~4 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH :	音を重ねる割合 <ul style="list-style-type: none"> • [LEVEL/DEPTH] ノブを左に回し切ってから右に回すと、減衰率も変化させることができます。右に回し切ると、出力音が固定されます。
• X-PAD :	エフェクト時間
REVERB ¹ ²	入力音に残響効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	残響エフェクトの度合い : 1~100%
• TIME :	残響エフェクトの度合い : 1~100%
• LEVEL/DEPTH :	原音とエフェクト音のバランス
• X-PAD :	フィルターのカットオフ周波数

BEAT FX/ 操作	説明
FLANGER	拍に合わせて、周期的なフランジャー効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• X-PAD:	エフェクト移動周期
PHASER	拍に合わせて、周期的なフェイザー効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• X-PAD:	エフェクト移動周期
FILTER	拍に合わせて、周期的にフィルターのカットオフ周波数が変化します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• X-PAD:	エフェクト移動周期
TRIPLET FILTER	拍に合わせ、3拍を基準として周期的にフィルターのカットオフ周波数が変化します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/12~12/3拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32 000 (ms)
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• X-PAD:	エフェクト移動周期

BEAT FX/ 操作	説明
<p>TRANS</p> <ul style="list-style-type: none"> • BEAT ◀, ▶: • TIME : • LEVEL/DEPTH: • X-PAD: 	<p>拍に合わせて、音声を周期的にカットします。</p> <p>BPMの1拍に対してのカットする周期（倍率）：1/16~16拍</p> <p>エフェクト時間：10~16 000 (ms)</p> <p>原音とエフェクト音のバランスとデューティ</p> <p>カットする周期</p>
<p>ROLL</p> <ul style="list-style-type: none"> • BEAT ◀, ▶: • TIME : • LEVEL/DEPTH: • X-PAD: 	<p>[ON/OFF]を押してエフェクトをオンにしたときの入力音を記録し、記録した音を設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。</p> <p>BPMの1拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~16拍</p> <p>エフェクト時間：10~4 000 (ms)</p> <p>原音とエフェクト音のバランス</p> <p>エフェクト時間</p>
<p>TRIPLET ROLL</p> <ul style="list-style-type: none"> • BEAT ◀, ▶: • TIME : • LEVEL/DEPTH: • X-PAD: 	<p>[ON/OFF]を押してエフェクトをオンにしたときの入力音を記録し、記録した音を設定した拍の3拍を基本とした倍率に合わせて繰り返し出力します。</p> <p>BPMの1拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/12~12/3拍</p> <p>エフェクト時間：10~4 000 (ms)</p> <p>原音とエフェクト音のバランス</p> <p>エフェクト時間</p>

BEAT FX/ 操作	説明
MOBIUS	拍に合わせて、発音したオシレーターの周波数が上昇または下降し続けるように変化します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16～64拍/-64～-1/16拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10～32000/-32000～-10 (ms)
• LEVEL/DEPTH :	オシレーターの音量
• X-PAD :	オシレーターの波形

- ① BEAT FXチャンネル切替えでCH 1～CH 4を選択しているときは、そのチャンネルの[CUE]ボタンを押してもエフェクト音はモニターできません。
- ② チャンネルフェーダーを [0] の位置に合わせて入力音を切ると、エフェクト音が残ります（エフェクトをオフにしたあともエフェクト音が残ります）。

DJソフトウェアを使う

MIDI 対応のソフトウェアをインストールした PC/Mac を USB ケーブルを使って接続すると、本機から DJ ソフトウェアを操作できます。

- 本機で PC 上のトラックを再生するには、お使いの PC にあらかじめ専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールしてください（17 ページ）。Mac をお使いの場合は、専用オーディオドライバーソフトウェアのインストールは必要ありません。
- 本機の MIDI メッセージについては、下記のサイトを参照してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- お使いの PC/Mac に、あらかじめ DJ ソフトウェアをインストールし、オーディオおよび MIDI の設定を行ってください。
- rekordbox または Serato DJ Pro をお使いの場合は、MIDI の設定は必要ありません。
- 本機と PC/Mac は、直接 USB ケーブルで接続することを推奨します。USB ハブを使用する場合は、お使いになる PC/Mac のメーカー推奨製品を使用してください。すべての USB ハブの動作を保証するものではありません。

DJソフトウェアを操作する

1 本機と PC/Mac を接続する

☛ 「本体リア部」 (34 ページ)

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

3 [SOFTWARE CONTROL] を選択する

[SOFTWARE CONTROL] 画面が表示されます。

4 [LOAD 1/2/3/4] ボタンのいずれかを押す

ボタンを押したデッキ部がコントロールモードに切り替わります。

5 DJソフトウェアを起動する

DJソフトウェアを使う

DJソフトウェアとの通信を開始します。

- ボタンによっては、DJソフトウェアの操作に使用できないことがあります。
- 通信中の DJ ソフトウェア以外のデバイスからトラックをコントロールモードオンのデッキにロードすると、コントロールモードがオフになります。

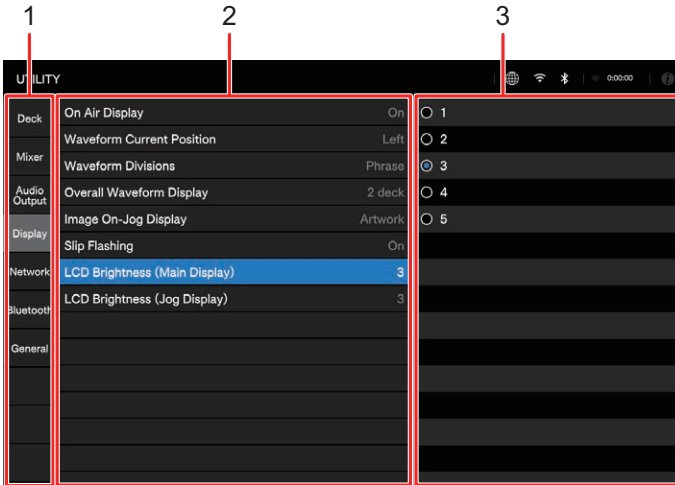
設定

UTILITY 設定、[SHORTCUT] または [MIXER SETTINGS] 画面で本機の設定を変更します。また、あらかじめ MY SETTINGS（本機の機能設定）を記録メディアに保存しておくこと、DJ 交代時などに設定を読み込んで、一括で本機に適用できます。

設定を変更する

1 [MENU] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。



1. カテゴリー
2. 設定項目と現在設定値表示
3. 設定値

2 カテゴリーを選択する

3 設定項目を選択する

☰ 「UTILITY 設定項目」 (134 ページ)

4 設定値を選択する

- [MENU] ボタンを押すと、[UTILITY] 画面を閉じます。

UTILITY 設定項目

❖ Deck カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Eject/Load Lock	<p>Eject Lock：再生中にロードしている曲のアンロードを可能とするかどうかを設定します。</p> <p>Load Lock：再生中にほかのトラックのロードを可能とするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Unlock*、Lock [Eject Lock]： <ul style="list-style-type: none"> [Unlock]：再生中にロードしている曲をアンロードできます。 [Lock]：再生中にロードしている曲をアンロードできません。 [Load Lock]： <ul style="list-style-type: none"> [Unlock]：再生中にほかのトラックをロードできます。 [Lock]：再生中にほかのトラックをロードできません。
Quantize Beat Value (Deck)	<p>クオンタイズの拍数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：1/8 Beat、1/4 Beat、1/2 Beat、1 Beat*
Hot Cue Auto Load	<p>トラックのロード時に自動でホットキュー/ループを呼び出すかどうかを設定します (100 ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off、On*
Hot Cue Color	<p>[HOT CUE] (A ~ H) ボタンの点灯色設定を指定します (97 ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off*、On
Overwrite Current Cue with Hot Cue (Smart Cue)	<p>ホットキュー/ループを設定する、またはホットキュー/ループから再生を開始したときに、そのポイントを新しいキューポイントとして設定するかどうかを設定します (79 ページ、97 ページ、98 ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off*、On






設定項目	説明
Auto Cue Level	<p>オートキューで無音部として認識する音圧レベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Memory Cue*、Hot Cue、-78dB、-72dB、-66dB、-60dB、-54dB、-48dB、-42dB、-36dB [Memory Cue]：保存されているキュー/ループポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。 [Hot Cue]：保存されているホットキュー/ループポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。
Vinyl Speed Adjust	<p>VINYLモードの再生と停止の速度の調整方法を設定します（78 ページ）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Touch&Release、Touch*、Release
Vinyl Speed Adjust Time	<p>Vinyl Speed Adjustの速度を設定します（78 ページ）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：1、2、3*、4、5
Play Mode	<p>トラックの再生方法を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Continue、Single* [Continue]：トラックの終わりに到達すると自動で次のトラックをロードします。 [Single]：トラックの終わりに到達すると再生が停止します。次のトラックは自動でロードされません。
Jog Ring Brightness	<p>JOG RING ILLUMINATION の明るさを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off、1、2*
Jog Ring Indicator	<p>トラックの残り時間が少なくなったときに、JOG RING ILLUMINATION を点滅させるかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off、On*

設定項目	説明
PRO DJ LINK Mode	<p>PRO DJ LINK 対応のプレーヤーと接続するときに [On] に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off*、On [On] に設定すると、本機の DECK 3 と DECK 4 は使用できなくなります。 本機の内蔵無線 (Wi-Fi) を使用中は、PRO DJ LINK 対応のプレーヤーと接続することはできません。

❖ Mixer カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Channel Input Select Memory	<p>[DECK 3 Input Select] や [DECK 4 Input Select] の状態を記憶します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off*、On [Bluetooth] を選択しているときは記憶されず、電源をオンにすると [DECK/□] が選択されます。 [PHONO] を選択しているときにメモリーした場合、次回起動時に入力する信号によっては大音量が出力される場合があります。入力する信号と設定が合っているか確認してください。
DECK3 Input Select	<p>本機に接続している機器の中から DECK 3 の入力ソースを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：DECK/□、LINE、PHONO、Bluetooth [DECK/□]：本機のデッキまたは、[USB] 端子に接続している PC/Mac の音声 [LINE]：[LINE/PHONO] 端子に接続しているマルチプレーヤーなど [PHONO]：[LINE/PHONO] 端子に接続しているターンテーブル [Bluetooth]：Bluetooth で接続している PC/Mac やモバイルデバイス

設定項目	説明
DECK4 Input Select	<p>本機に接続している機器の中から DECK 4 の入力ソースを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：DECK/☐、LINE、PHONO、Bluetooth [DECK/☐]：本機のデッキまたは、[USB]端子に接続しているPC/Macの音声 [LINE]：[LINE/PHONO]端子に接続しているマルチプレーヤーなど [PHONO]：[LINE/PHONO]端子に接続しているターンテーブル [Bluetooth]：Bluetoothで接続しているPC/Macやモバイルデバイス
CH3 Control Tone	<p>[PHONO]と[LINE]のどちらの入力端子に接続された機器からのタイムコード信号をCH3で送信するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：LINE*、PHONO
CH4 Control Tone	<p>[PHONO]と[LINE]のどちらの入力端子に接続された機器からのタイムコード信号をCH4で送信するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：LINE*、PHONO
EQ / ISO	<p>[EQ/ISO (HI, MID, LOW)]ノブで調整する機能（イコライザーまたはアイソレーター）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：EQ*、ISO
Channel Fader Curve	<p>チャンネルフェーダーカーブを設定します（110 ページ）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値： Curve1、 Curve2*、 Curve3
Crossfader Curve	<p>クロスフェーダーカーブを設定します（110 ページ）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値： Curve1*、 Curve2、 Curve3

設定項目	説明
Master EQ	<p>マスター EQ [HI, MID, LOW] ノブで調整する機能 (Master Out または Master and Booth Out) を設定します (109 ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値: Master Out*、Master and Booth Out [Master Out]: マスター EQ をマスター音声のみに適用します。 [Master and Booth Out]: マスター EQ をマスター音声と BOOTH モニター音声に適用します。
DECK1 Crossfader Assign	<p>チャンネルの出力先をクロスフェーダーに割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値: A、THRU*、B
DECK2 Crossfader Assign	<ul style="list-style-type: none"> [A]: クロスフェーダーの [A] (左) 側に割り当てます。
DECK3 Crossfader Assign	<ul style="list-style-type: none"> [THRU]: クロスフェーダーを使わないときに選びます (クロスフェーダーは通過しません)。
DECK4 Crossfader Assign	<ul style="list-style-type: none"> [B]: クロスフェーダーの [B] (右) 側に割り当てます。
SonicLink	<p>SonicLink の電源をオン/オフします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値: Off、On*
Headphones Stereo / Mono Split	<p>ヘッドホン出力の [Stereo] と [Mono Split] を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値: Stereo*、Mono Split
LINK Preview Volume	<p>LINK CUE の音声の減衰レベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値: -9dB、-6dB、-3dB、0dB*
USB Output Level	<p>USB 端子 (Type-C) から出力する音声の減衰レベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値: -19dB*、-15dB、-10dB、-5dB
MIC Output to Booth	<p>マイクの音声を [BOOTH] 端子に出力するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値: Off、On*
MIC Output to Master REC	<p>マイクの音声を MASTER REC (録音音声) に出力するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値: Off、On*

設定項目	説明
MIC Output to USB	マイクの音声を USB 端子 (Type-C) に出力するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off、On*
BEAT FX MIC	BEAT FX を加えるマイクを設定します (124 ページ)。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：MIC1、MIC2、MIC1+2*
Feedback Reducer	マイクのハウリングが発生したときに音質への影響を最低限に抑えながらハウリングを低減します (117 ページ)。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off、Light、Heavy*
Talkover Mode	Talkover のモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Advanced*、Normal [Advanced]：[LEVEL] ノブの設定値にしたがって、MIC チャンネル以外の音声の中音域だけを減衰して出力します。 [Normal]：[LEVEL] ノブの設定値にしたがって、MIC チャンネル以外の音声を減衰して出力します。
Talkover Level	Talkover の音声減衰レベルを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：-24dB、-18dB*、-12dB、-6dB

❖ Audio Output カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Master Attenuator	[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：-12dB、-6dB、0dB*
Master Peak Limiter	マスター出力の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off、On*

設定項目	説明
Master Mono / Stereo	<p>マスターから出力する音声の出力方法（モノラル/ステレオ）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Mono、Stereo*
Booth Monitor Attenuator	<p>[BOOTH] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：-12dB、-6dB、0dB*
Booth Monitor Mono / Stereo	<p>[BOOTH] 端子から出力する音声の出力方法（モノラル/ステレオ）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Mono、Stereo*

❖ Display カテゴリ

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
On Air Display	<p>オンエア表示を表示するかどうか設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Off、On*
Waveform Current Position	<p>拡大波形に表示する現在再生位置（中央または左側）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Left*、Center
Waveform Divisions	<p>全体波形のプレーイングアドレスの下に表示する内容を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Time Scale、Phrase* [Time Scale]：30秒間隔で目盛を表示します。 [Phrase]：rekordboxで解析したPhrase Dataを表示します。 Phrase Dataがない場合は、Time Scaleが表示されます。
Waveform Display	<p>デッキ表示部、全体波形表示部およびデッキ情報表示部、拡大波形表示部を2DECK表示または4DECK表示に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：2deck*、2/4deck、4deck

設定項目	説明
Image On-Jog Display	<p>ジョグ表示部のアートワーク表示部に表示する内容を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：Artwork*、Custom Image [Artwork]：ロードされているトラックのアートワークを表示します。 [Custom Image]：ロードされているトラックが保存されている記録デバイスのルート階層に保存してあるJPEGデータを表示します。800×800ピクセルより大きいサイズの画像は表示できません。
Slip Flashing	<p>[SLIP] ボタンを押したときに、スリップ機能が働くボタンなどのインジケータを点滅させるかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：On*、Off
LCD Brightness (Main Display)	<p>画面表示の明るさを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：1、2、3*、4、5
LCD Brightness(Jog Display)	<p>ジョグ表示部の明るさを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：1、2、3*、4、5

❖ Network カテゴリー

設定項目	説明
Wi-Fi Setting	無線ルーターのアクセスポイントを使って本機と接続する設定を行います (144 ページ)。
Wi-Fi Frequency	<p>使用する周波数帯を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値：5GHz (Recommended)*、2.4GHz/5GHz
Wi-Fi Address	無線 LAN (Wi-Fi) の IP アドレスと MAC アドレスを表示します。
Ethernet Info	有線 LAN の IP アドレス、MAC アドレスを表示します。

❖ Bluetooth カテゴリー

設定項目	説明
Bluetooth Setting	Bluetooth 機器と接続する設定を行います (145 ページ)。

❖ General カテゴリー

* : お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Language	画面表示言語を設定します。
Screen Saver	<p>スクリーンセーバーを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値 : Off、On* [On]に設定すると、以下のときにスクリーンセーバーが起動します。 <ul style="list-style-type: none"> 本機にトラックがロードされていない状態で5分以上何も操作されないとき 一時停止、キュー待機状態、またはトラックの終わりに到達した状態のまま100分以上何も操作されないとき 本機を操作するとスクリーンセーバーは解除されます。
Power Management	<p>パワーマネジメント機能を設定します (143 ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値 : Never、20min*
Restore Defaults	<p>本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定値 : Cancel*、Ok
Serial No.	本機のシリアルナンバーを表示します。
License	本機のライセンスに関する情報を表示します。
Version No.	<p>本機のソフトウェアバージョンを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続されているときにファームウェアの更新がある場合は、更新通知を表示します。

パワーマネージメント機能

[Power Management] を [20min] に設定しているときに、以下の状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。

- － 本機に音声信号が入力されていない。
- － PRO DJ LINK 接続されていない。
- － 記録メディアがセットされていない。
- － USB 端子（本体リア部）に PC/Mac が接続されていない。

[QUANTIZE] ボタンを押すと、オフモードを解除できます。

- 本機は、パワーマネージメント機能を [20min] に設定して出荷しています。
- パワーマネージメント機能を使用しないときは [Never] に設定してください。
- パワーマネージメント機能を [Never] に設定すると、より多くの電力を消費します。

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続

無線ネットワークに接続する

1 [MENU] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 Network カテゴリーを選択して、[Wi-Fi Setting] を選択する

[Wi-Fi Setting] 画面が表示されます。

3 [Wi-Fi] をタッチしてオンにする

ネットワークの検索を開始し、利用可能な SSID の一覧を表示します。



1.  (Wi-Fi 接続アイコン)

2. Wi-Fi オン/オフ

3. SSID 一覧

4 利用するネットワーク名 (SSID) をタッチする

パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを入力して、[CONNECT] をタッチする

接続に成功すると、利用するネットワーク名 (SSID) に [CONNECTED] が表示され、SSID 一覧の先頭に表示されます。

- 以前利用したことのあるネットワークの場合は、この操作は必要ありません。
- 利用中のネットワーク名(SSID)をタッチすると、ネットワーク情報画面が表示され、ネットワーク情報を確認できます。ネットワーク情報画面の[AUTO-CONNECT]をオンにすると、次回から自動的に接続を開始します。
- 本機に登録済みのネットワーク名(SSID)を削除するには、SSID一覧の最後に表示される[SAVED NETWORKS]をタッチします。一覧から削除するネットワーク名(SSID)を選択して、ネットワーク情報画面の[FORGET THIS NETWORK]をタッチします。

Bluetooth® 接続

PC/Macやモバイルデバイスの音声をBluetoothで本機に入力することができます。

Bluetooth 機器と接続する

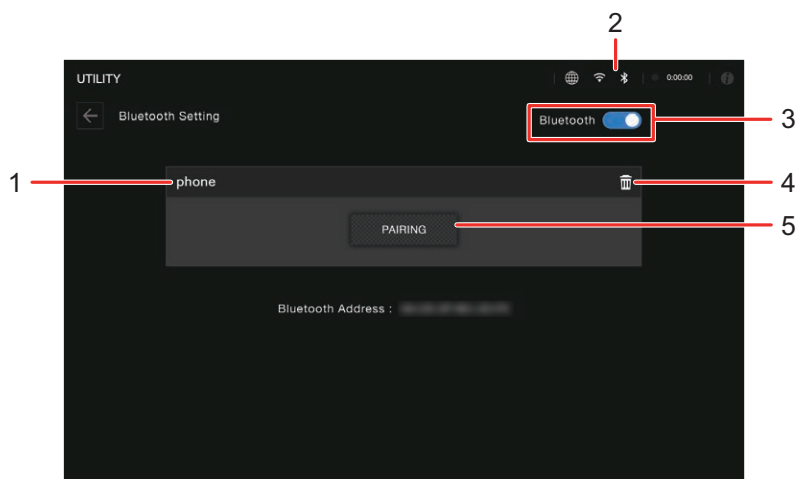
1 [MENU] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 Bluetooth カテゴリーを選択して、[Bluetooth Setting] を選択する

[Bluetooth Setting]画面が表示されます。

3 [Bluetooth] をタッチしてオンにする



1. 接続機器名
2.  (Bluetooth 接続アイコン)
3. Bluetooth オン/オフ
4.  (REMOVE DEVICE)
5. PAIRING

4 [PAIRING] をタッチする


本機がペアリング状態になります。

- ペアリング状態中は、Bluetooth接続アイコンが点滅します（約120秒間）。

5 Bluetooth 機器でペアリング操作を行う

6 本機から接続許可の操作を行う

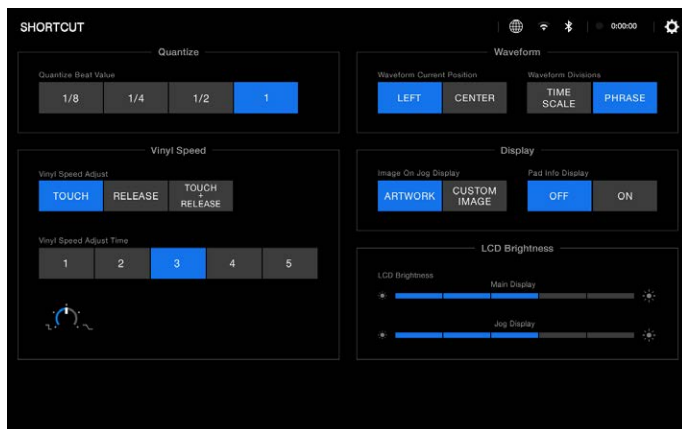
接続が完了すると、Bluetooth接続アイコンが点滅から点灯に変わります。

- 本機がペアリング状態の間（約120秒間）に、Bluetooth機器側でペアリング操作を行ってください。120秒以内にペアリングできなかった場合、Bluetooth接続アイコンは、グレーに変わります。
- Bluetooth機器のペアリング操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書を参照してください。
- 本機に登録済みのBluetooth機器は、Bluetoothがオンであれば自動的に接続されます。
- 本機に登録できるBluetooth機器は1台です。登録済みの機器とは別の機器をペアリングすると、登録情報は上書きされます。もう一度登録するには、ペアリングの操作を行ってください。
- 本機にBluetooth機器を登録済みのときは、 をタッチするとほかのBluetooth機器とペアリングすることができます。

SHORTCUT画面から設定を変更する

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT]画面が表示されます。



2 設定値を選択する

☰ 「SHORTCUT画面の設定項目」(148 ページ)

- もう一度[SHORTCUT]ボタンを押すと、[SHORTCUT]画面を閉じます。

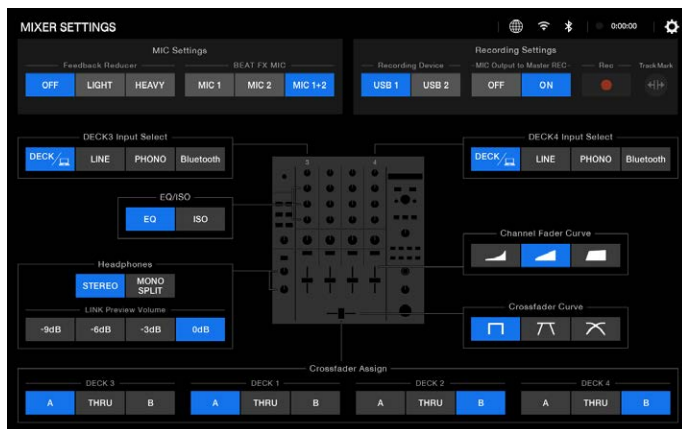
SHORTCUT 画面の設定項目

設定項目	説明
Quantize	
Quantize Beat Value	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (134 ページ)。
Vinyl Speed	
Vinyl Speed Adjust	
Vinyl Speed Adjust Time	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (134 ページ)。
Waveform	
Waveform Current Position	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (134 ページ)。
Waveform Divisions	
Display	
Image On-Jog Display	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (134 ページ)。
Pad Info Display	ジョグ表示に PAD モードの情報を表示するかどうかを設定します。
LCD Brightness	
Main Display	
JOG Display	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (134 ページ)。

MIXER SETTINGS 画面から設定を変更する

1 [MIXER SETTINGS] ボタンを押す

[MIXER SETTINGS]画面が表示されます。



2 設定値を選択する

☛ 「MIXER SETTINGS 画面の設定項目」 (150 ページ)

- もう一度[MIXER SETTINGS]ボタンを押すと、[MIXER SETTINGS]画面を閉じます。

MIXER SETTINGS 画面の設定項目

設定項目	説明
Mic Settings	
Feedback Reducer	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (134 ページ)。
BEAT FX MIC	
Recording Settings	
Recording Device	録音するデバイスを選択します (75 ページ)。
MIC Output to Master REC	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (134 ページ)。
Rec	録音を開始します (75 ページ)。
Track Mark	録音しながらトラックを分割します (75 ページ)。
DECK3 Input Select	
DECK4 Input Select	
EQ / ISO	
Headphones Stereo / Mono Split	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (134 ページ)。
Channel Fader Curve	
Crossfader Curve	
LINK Preview Volume	
Cross Fader Assign	

記録メディアから MY SETTINGS を読み込む

記録メディアに保存されている MY SETTINGS の設定を、本機に読み込みます。

- PRO DJ LINK で接続しているプレーヤーに接続されている記録メディアや、rekordbox、CloudDirectPlay から読み込むこともできます。

1 記録メディアを本機にセットする

- ☛ 「メディアの挿入と取り外し」(51 ページ)

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。


3 デバイスを選択する

4 をタッチする

Device Settings 画面が表示されます。

5 [MY SETTINGS] の [LOAD] をタッチする

MY SETTINGS 設定を本機に読み込みます。

- 再生中は実行できません。一時停止してください。
- もう一度  をタッチすると、Device Settings 画面を閉じます。

スペック

仕様

一般

電源.....	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力.....	60 W
待機時消費電力 (OFF 時).....	0.3 W
本体質量.....	13.5 kg
最大外形寸法.....	(W × D × H) 895 × 504.1 × 133.4 mm
許容動作温度.....	+5 °C ~ +35 °C
許容動作湿度.....	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

オーディオ部

サンプリングレート.....	44.1 kHz
MASTER D/A コンバーター.....	32bit
その他のA/D, D/A コンバーター.....	24bit

周波数特性

USB, LINE, MIC 1, MIC 2.....	20 Hz ~ 20 kHz
------------------------------	----------------

S/N 比 (定格出力時、A-WEIGHTED)

USB.....	115 dB
LINE.....	96 dB
PHONO.....	85 dB
MIC.....	79 dB

全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHz BW)

USB.....	0.0018 %
LINE.....	0.005 %

基準入力レベル/入力インピーダンス

LINE.....	-12 dBu/47 kΩ
PHONO.....	-52 dBu/47 kΩ
MIC.....	-57 dBu/3 kΩ

基準出力レベル/ 負荷インピーダンス/ 出力インピーダンス

MASTER 1.....	+6 dBu/10 kΩ/360 Ω 以下
MASTER 2.....	+2 dBu/10 kΩ/700 Ω 以下
BOOTH.....	+6 dBu/10 kΩ/700 Ω 以下
PHONES.....	+8 dBu/32 Ω/1 Ω 以下

定格出力レベル/負荷インピーダンス

MASTER 1	+25 dBu/10 kΩ
MASTER 2	+21 dBu/10 kΩ

クロストーク

LINE	84 dB
------------	-------

チャンネルイコライザー特性/マスターイコライザー特性

HI.....	-26 dB ~ +6 dB (10 kHz)
MID.....	-26 dB ~ +6 dB (1 kHz)
LOW.....	-26 dB ~ +6 dB (20 Hz)

マイクイコライザー特性

HI.....	-12 dB ~ +12 dB (10 kHz)
MID.....	-12 dB ~ +12 dB (2.5 kHz)
LOW.....	-12 dB ~ +12 dB (100 Hz)

入力/出力端子

LINE/PHONO 入力端子

RCA ピンジャック	2 系統
------------------	------

MIC 入力端子

XLR コネクタ & 1/4" TRS ジャック	2 系統
--------------------------------	------

MASTER 1 出力端子

XLR コネクタ	1 系統
----------------	------

MASTER 2 出力端子

RCA ピンジャック	1 系統
------------------	------

BOOTH 出力端子

1/4" TRS ジャック	1 系統
---------------------	------

PHONES 出力端子

1/4" ステレオジャック	1 系統
3.5 mm ステレオミニジャック	1 系統

USB 端子

USB Type-A	2 系統
電源供給	5 V/1 A 以下

USB Type-C	1 系統
------------------	------

LINK 端子 (PRO DJ LINK)

LAN 端子 (100BASE-TX)	1 系統
---------------------------	------

無線 LAN 部

対応規格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
------------	------------------------

使用周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz 帯
---------------	-----------------

Bluetooth 部

無線方式.....	Bluetooth Ver.5.3
最大通信距離.....	見通しの良い状態で約 20 m ^{*1}
使用周波数帯域.....	2.4 GHz 帯
対応コーデック.....	SBC、AAC

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

SonicLink 部

最大通信距離.....	見通しの良い状態で約 5 m ^{*2}
使用周波数帯域.....	2.4 GHz 帯

*2 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

本機は、すべての無線 LAN および Bluetooth 機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。

Bluetooth、無線 LAN (Wi-Fi[®])、SonicLink の同時使用について

Bluetooth と無線 LAN (Wi-Fi[®]) を同時に使用する場合や SonicLink と同時に無線 LAN (Wi-Fi[®]) を使用する場合は、電波が干渉することがあるため、無線 LAN (Wi-Fi[®]) をオフにするか、UTILITY 設定の [Wi-Fi Frequency] を [5GHz (Recommended)] に設定してください。

本機および付属ソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目およびAlphaTheta サポートページから [XDJ-AZ] の [よくある質問(FAQ)] を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

エラー表示

❖ E-8302 (エラータイプ：CANNOT PLAY TRACK)

- 記録メディア内の楽曲ファイルを正常に読み取れません。楽曲ファイルが破損している可能性があります。
本機で再生可能なフォーマットのファイルを再生できる別のプレーヤーなどを使って、再生できるかを確認してください。

❖ E-8304/E-8305 (エラータイプ：UNSUPPORTED FILE FORMAT)

- 本機が対応していないフォーマットの楽曲ファイルがロードされています。本機が対応しているフォーマットの楽曲ファイルを使用してください (11 ページ)。

無線 LAN (Wi-Fi®)

❖ アクセスポイントに接続できない

- ネットワーク名 (SSID)、パスワード、暗号化方式が正しく設定されているか確認してください。ネットワークの設定と本機の設定を合わせてください。

❖ アクセスポイントが見つからない

- 本機と無線ルーター（アクセスポイント）の距離が離れている場合は、距離を近づけてください。
- 本機と無線ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。

Bluetooth

❖ 本機と Bluetooth 機器を接続できない

- 本機と Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度ペアリング操作を行ってください。

❖ 音が途切れる

- 本機と Bluetooth 機器の距離が離れている場合は、距離を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。

CloudDirectPlay

❖ 楽曲が表示されない、楽曲のロードができない

- rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android と、クラウドのライブラリの同期が完了していない場合は、ブラウザ画面に楽曲が表示されません。同期が完了してから使用してください。
- Dropbox/Google Drive に楽曲がアップロードされているか確認してください。ブラウザ画面には、Dropbox/Google Drive にアップロードした楽曲ファイルのみが表示されます。また、アップロードが完了していない場合は、楽曲ファイルをロードできません。あらかじめ、使用したい楽曲ファイルを Dropbox/Google Drive へアップロードしてから使用してください。rekordbox for Mac/Windows、rekordbox for iOS/Android を使ってアップロードできます。
- Dropbox/Google Drive のメンテナンス中や障害発生中は、楽曲ファイルをロードできません。メンテナンス完了後や復旧後に、使用してください。

❖ USB デバイスの容量が足りない

- CloudDirectPlay では、Dropbox/Google Drive からロードした楽曲ファイルを USB デバイスに一時的に保存します。ロードした楽曲ファイルの数とサイズに応じて、空き容量が必要です。1 曲分の楽曲ファイルのサイズの目安は以下です。楽曲の長さやファイル形式によって異なります。

- mp3形式：12 MB（320 kbps のビットレートで6 分の楽曲の場合）
- WAV 形式：66 MB（CD 音質で6 分の楽曲の場合）

StreamingDirectPlay

❖ Beatport Streaming サービスを利用できない

- インターネットに接続されているか確認してください。

❖ 楽曲ファイルがトラックリストに表示されない

- Beatport Streaming を使用する場合、対応したサブスクリプションの契約が必要です。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が現れることがありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所で使用する際は、本機の電源をオンにしたあと液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たって画面表示が見えにくいときは、直射日光をさえぎってください。

クリーニングについて

液晶画面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

- 有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

タッチディスプレイについて

- 操作は指で行い、無理な力をかけないでください。
- 指以外の物、特にボールペン、シャープペンシル、とがった爪先など、先端の硬い物や先端の鋭利なもので操作しないでください。

商標および登録商標について

- rekordbox™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- PRO DJ LINK™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- Mac、macOS および Finder は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標または登録商標です。
- Serato DJ Pro は Serato Limited 社の登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android、Google Drive は Google LLC の商標です。
- Dropbox は、Dropbox Inc. の商標または登録商標です。
- Beatport、Beatport Streaming およびそのロゴは、Beatport, LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

AlphaTheta 株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

MP3 の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておられません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

著作権

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2024 AlphaTheta 株式会社 禁無断転載
<DRJ1102-C>